



DEEBOT

取扱説明書/Instruction Manual

取扱説明書..... JA | P03

Instruction ManualEN | P31

安全に関する重要注意事項

本製品を使用する際は、以下を含む基本的な取扱注意事項に必ず従ってください。

**本製品のご使用前に必ずお読みください。
お読みになった後は、いつでも見られると
ころに大切に保管してください**

1. 本製品は、身体能力、感覚能力、または知力に障がいをお持ちの方、経験や知識の少ない方（お子様を含む）の使用を想定していません。ただし、上記の使用者の安全について責任を負う方により、本製品の使用方法に関する指導または説明を受けている場合には、お使いいただけます。
2. お子様が本製品で遊ばせないでください。監督なしにお子様が清掃やお手入れを行わないようにしてください。
3. 掃除する場所を片付けてください。本製品に絡まる可能性のある電源コードや小さな物体は床から取り除いてください。カーペット等の敷物端のふさ飾りは敷物の下に押し込み、カーテンやテールクロスなどは床から持ち上げてください。
4. 掃除する領域内に段差や階段のような落下する場所がある場合は、本製品が段差を検知し、端から落下しないかどうかを確認してからご使用

ください。段差を検知できない場合、落下を防止するために段差の縁に囲いを置いてください。段差に置いた囲いにつまづかないように注意してください。

5. 必ず本取扱説明書に記載されている通りに使用してください。メーカーによって推奨あるいは販売されている消耗品・付属品のみを使用してください。
6. ご家庭の屋内でのみ使用するようにしてください。本製品は、屋外使用、商業または産業用途での使用を想定していません。
7. ダストボックスやフィルターを所定の位置に取り付けていない状態で使用しないでください。
8. 火気や壊れやすい物のある場所で使用しないでください。
9. 髪、絡まりやすい衣服、指、その他身体の一部を開口部や動いている部分に近づけないでください。
10. 極端な高温環境または低温環境（0℃未満または 40℃超）では使用しないでください。
11. 幼児や子供が眠っている部屋で本製品を使用しないでください。
12. 濡れた床や水が溜まっている床で本製品を使用しないでください。
13. 本製品に石、大きな紙片、その他詰まる可能性のある物体を吸引させないでください。

14. ガソリン、プリンターやコピー機のトナーなど引火性あるいは可燃性の物質を本製品に吸わせないでください。またそのような物が存在する可能性のある場所で使用しないでください。
15. 燃えている、または煙が出ている物体（タバコ、マッチ、熱い灰など）を本製品に吸わせないでください。発火の原因となります。
16. 吸入口に異物を入れないでください。吸入口が塞がれている場合は、使用しないでください。吸入口にほこり、糸くず、髪、その他空気の流れを弱める可能性のある物体がたまらないようにしてください。
17. 電源コードが損傷している場合は、危険を避けるため、メーカーまたはサービス代理店による交換が必要になります。
18. 本製品の清掃やメンテナンス作業を行う前に、電源スイッチをオフにしてください。
19. CH2620 に適したリチウムバッテリータイプは、最大電池数 4 個、最大公称電圧 DC 14.4V、定格 3,600mAh です。本製品を破棄する前に、バッテリーを取り外して、ご使用の地域の法規制に従って廃棄する必要があります。内蔵リチウムイオンバッテリーを含めた弊社製品の廃棄について、処分方法はお住いの自治体によって異なりますので、お住いの自治体の処分方法に従い廃棄してください。処分方法についてご存じない場合は、お住いの自治体にご確認ください。ご自身での処分が難しい場合は、製品をお客様元払いで弊社の修理センターへご送付いただければ、無償にてご対応させていただきます。その際は、部品などのご返却はしておりませんので、ご注意ください。
20. 使用済みのバッテリーは、各自治体の指示に従って廃棄するようにしてください。
21. 損傷が激しい場合でも、本製品は焼却しないでください。焼却するとバッテリーが爆発する可能性があります。
22. 本製品は、本取扱説明書の指示に従ってご使用ください。Ecovacs Home Service Robotics は、不適切な使用に起因するいかなる損傷または負傷に対しても一切の責任を負いません。
23. DEEBOT のバッテリーは熟練者のみが交換できます。DEEBOT のバッテリーの交換については、サポートセンターまでお問い合わせください。
24. ご使用環境の電源の電圧が、全自動クリーニングステーションに記載されている電圧と一致していることをご確認ください。
25. 本製品に付属する製造元純正の充電バッテリーおよび全自動クリーニングステーションのみを使用してください。充電式ではないバッテリーは

使用できません。

26. 電源コードを損傷しないように注意してください。電源コードで本製品や全自動クリーニングステーションを引っ張ったり、電源コードを持ち手にして運んだりしないでください。また電源コードを挟んだままドアを締めたり、鋭利な端や角の周辺で電源コードを引っ張ったりしないでください。電源コードの上で本製品を動作させないでください。電源コードは、熱を持った場所から離れた場所に置いてください。
27. 全自動クリーニングステーションが損傷している場合は使用しないでください。電源に損傷や欠陥がある場合、その電源を修理することも使用することもできません。
28. 電源コードやコンセントに損傷がある場合は使用しないでください。本製品または全自動クリーニングステーションが適切に動作しない場合、または落下、損傷、屋外放置、水濡れなどがあった場合は、本製品または全自動クリーニングステーションを使用しないでください。危険を避けるため、メーカーまたはサービス代理店による修理が必要となります。
29. 全自動クリーニングステーションの清掃やメンテナンス作業前には、コンセントから電源プラグを抜いてください。

30. 本製品を処分する場合は、バッテリーを取り外す前に、本製品を全自動クリーニングステーションから取り外し、本製品の電源スイッチをオフにしてください。
31. 全自動クリーニングステーションを長時間使用しないときは、電源を切ってください。
32. 長期間ロボットを使用しない場合には、ロボットの電源をオフにし、全自動クリーニングステーションから外して保管してください。
33. 警告 - 洗浄水タンクにはきれいな水だけを追加してください。
34. **警告:** バッテリーの充電には、本製品に付属している取り外し可能電源アダプター CH2620 を必ず使用してください。
35. **警告:** 故障や異常が発生した場合、使用を中止し、ECOVACS お客様相談センターにご連絡ください。
36. 本製品は日本国内専用となります。
37. 本製品を分解しないでください。

高周波 (RF) 曝露に関する要件を満たすために、本デバイスの動作中は本機器と人の間の距離を 20 cm 以上離れたままにする必要があります。

要件を順守するために、この距離よりも近い距離での動作はお勧めしません。この送信器に使用するア

ンテナは、他のアンテナや送信器と同じ場所に設置しないでください。

デバイスの更新

一部のデバイスは、通常、隔月で更新されますが、絶対ではありません。

一部のデバイス、特に発売から3年以上経過したデバイスは、重大な脆弱性が見つかって修正された場合にのみ更新されます。

現在のソフトウェアバージョンを確認し、自動更新を有効にするには、アプリで「設定」>「ロボットの詳細設定」>「ロボットについて」>「更新」の順に進んでください。現在のバージョンが表示されます。「更新」をタップして画面を開き、「自動更新」を選択して有効にしてください。

	注意: 表面が熱くなります
	短絡防止の安全絶縁変圧器
	スイッチモード電源
	屋内使用専用
	直流
	交流

	充電する前に、取扱説明書をお読みください。
	充電ポートの極性
	遅延ミニチュアヒューズリンク
	クラスII

リモート監視は、非公開の私有地において、純粋な自己防衛と単独の管理を目的とした絶対的な私的利用のためのものです。ご利用の際には、現地のデータ保護に基づく法的義務にご注意ください。公共の場所の監視は行わないでください。特に、正当な理由なく、秘密裏に、または雇用主側による監視は行わないでください。このような不当な使用は、ユーザーのみがリスクと責任を負うことになります。

製品概要

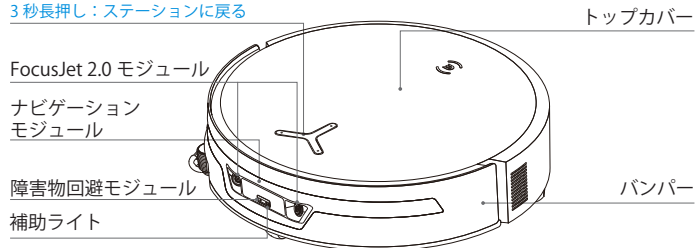
①製品構成

1. DEEBOT 正面図

DEEBOT のボタン：

タップ：開始 / 一時停止

3 秒長押し：ステーションに戻る



2. DEEBOT 底面図

落下防止センサー

サイドブラシ

カーペットセンサー

ブラシリリースボタン

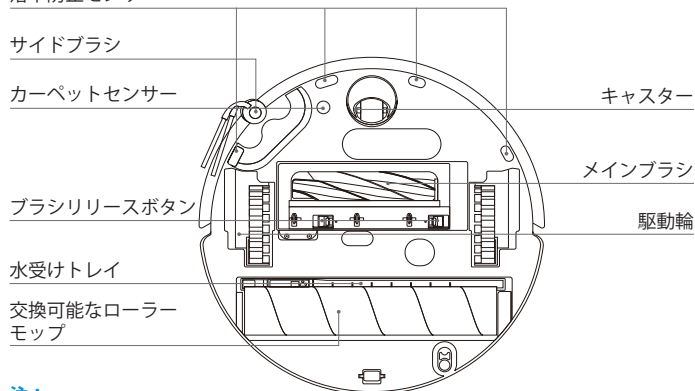
水受けトレイ

交換可能なローラー
モップ

キャスター

メインブラシ

駆動輪



注：

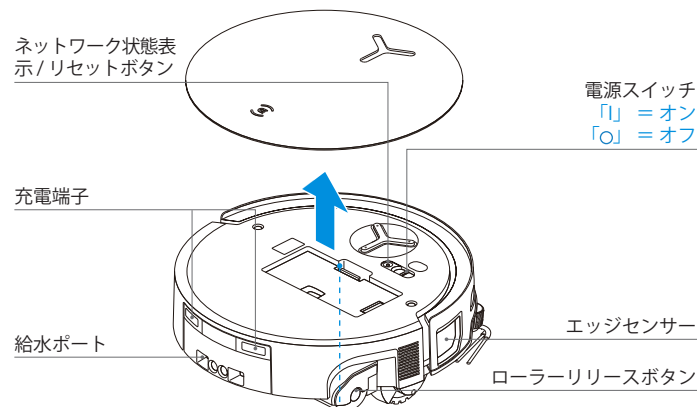
* 本取扱説明書の図はあくまで参考であり、実際の製品の外観とは異なる場合があります。

3. DEEBOT 内部（カバーの下）

リセットボタン

ネットワーク設定の初期化：リセットボタンを押すと、DEEBOT をアプリに接続するための音声案内が流れます。

デフォルト設定に戻す：リセットボタンを 5 秒間長押しします。音声案内に続いて起動音が流れ、DEEBOT は初期設定に復元されます。※地図情報や清掃の設定などがすべて削除されますので、ご注意ください。



4. ダストボックス

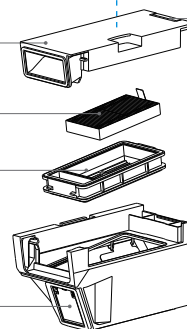
ダストボックスカバー

フィルター

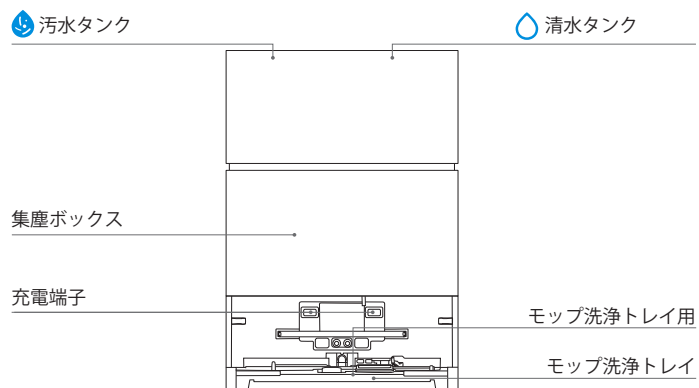
フィルターホルダー

ダスト排出口

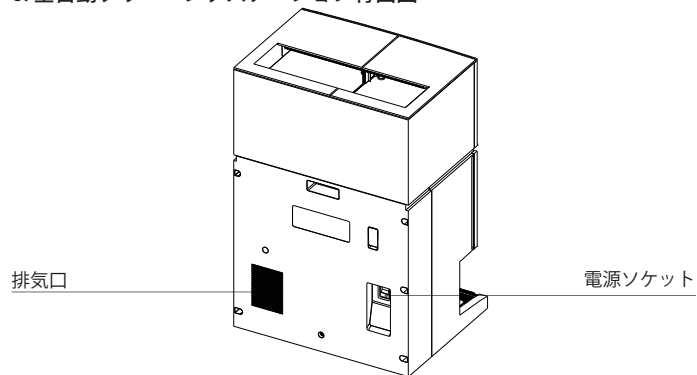
フィルタースタンド



5. 全自動クリーニングステーション正面図



6. 全自動クリーニングステーション背面図



7. DEEBOT の表示ランプ

ライトの状態	ステータス
白色でゆっくり呼吸点滅	充電中
白色で点灯	フル充電 / 走行中
赤色で点灯	電池残量が少なくなっています
赤色で点滅	DEEBOT アラーム
オレンジ色で点滅	ステーションアラーム

注：

- ・オレンジ色または赤色で点滅：アプリで異常の原因を確認してください。
- ・DEEBOT が充電できない場合は、充電端子をきれいな乾いた布クロスで拭いてください。

8. センサーの概要

部品名	機能の説明
ナビゲーションモジュール	レーザー測距により反射の時間差に基づいて DEEBOT と周囲の距離を測定することで、DEEBOT の移動中に周囲の物体に対してマッピングができます。検出距離は 10m です。
障害物回避モジュール	赤外線測距と相似三角形を用いて、周囲の物体と DEEBOT 間の距離を測定します。センサーが近くの物体を検出すると、DEEBOT は自動的に方向転換して物体にぶつからないようにします。検出距離は 0.3 m です。
落下防止センサー	飛行時間 (dToF) の原理を利用し、DEEBOT の底部にある dToF センサーが DEEBOT と床面との距離を測定し続けます。一方、底部の赤外線センサーは、赤外線測距技術により距離を検出します。前方に階段がある場合（白い床面で高さ 55 mm 以上、黒い床面で高さ 30 mm 以上など）、識別した高さが設定した高さを超えると DEEBOT は前進を停止し、落下防止機能が働きます。
カーペットの検知センサー	センサーは 300 kHz の超音波を発信し、そのエネルギーはカーペットに吸収されるため、反射エネルギーは閾値より低くなります。これにより DEEBOT はカーペットの存在を検知します。ECOVACS ラボのテストによると、市販されている 50 種類以上のカーペットを識別できます。
衝突防止センサー	オプトカプラスイッチの原理により、DEEBOT は衝突しそうな障害物を回避します。
エッジセンサー	赤外線測距により、エッジセンサーが DEEBOT と側面の物体との距離を検出します。右側に壁や障害物がある場合、DEEBOT はエッジ清掃を実行して、スポットの見落としを防ぎ、衝突を回避します。
AIMI カメラ	AI インテリジェント分析は、環境センシングおよび効率的な動画管理に活用されています（一部のモデルにおいて）。
マイクロホン	マイクロホンは、空気中を伝わる人間の音声によって生じる振動板の振動によって音をとらえます。これにより、音声録音と音声操作が可能になり、サウンドモデルの取得とアルゴリズムを利用して、DEEBOT に割り当てられた仕事を完了するよう指示できます。有効なウェイクアップ距離は 5 m です。

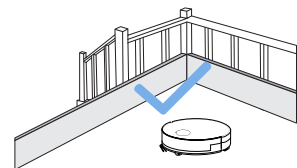
初期設定と使い方

① 清掃前の注意事項



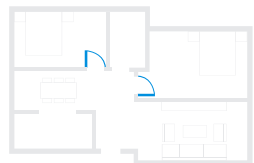
清掃する場所を片付ける

清掃面積を最大にするため、DEEBOTを使用する前に、テーブル、椅子、床置き扇風機などの家具を適切な場所に置き、体重計などの平たいものを片付けてください。



DEEBOTの落下を防ぐ

階段や段差などの落差のある端に物理的な障壁を設置し、DEEBOTが端から落ちないようにします。



部屋の扉を開けて本体が家全体を探索できるようにする

初めてご利用いただく際には、DEEBOTがご自宅の中を十分に探索できるように、すべての部屋の扉を開けてください。



清掃効率を上げるため、ケーブル、衣類、スリッパなど、床の上の物を片付けてください。



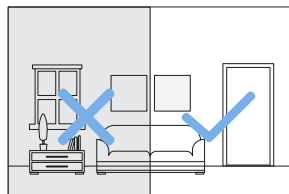
縁に房飾りのあるカーペットの上で本製品を使用する場合は、房飾りをカーペットの下に折り込んでください。



ナビゲーションモジュールの妨げにならないよう、廊下などの狭い場所には立たないでください。



DEEBOTの視界をクリアに保ち、指紋や油汚れで障害物回避モジュールのレンズに傷をつけたり汚したりしないでください。センサーを拭くときは、洗剤やスプレーではなく、清潔な柔らかい布クロスを使用してください。



十分な明るさを確保する

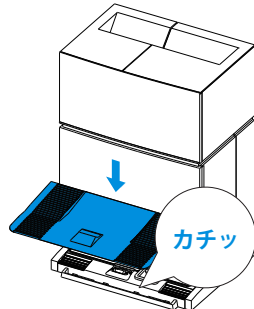
DEEBOTの障害物回避モジュールが靴、靴下、コードなどの障害物を正確に回避できるよう、すべての清掃領域に十分な明るさがあることを確認してください。

② クイックスタート

本製品を使用する前に、保護材をすべて取り外してください。

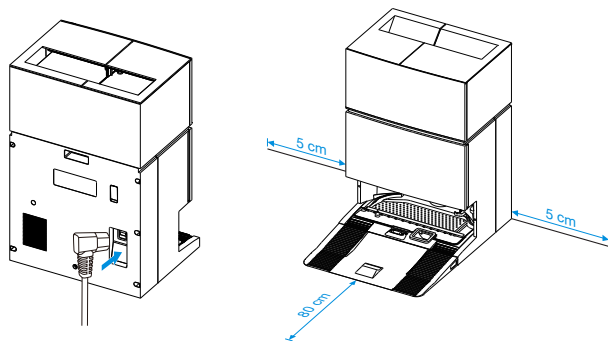
1. ステーションの設置

「カチッ」という音がして、正しく取り付けられたことを示します。



2. ステーションの組み立てと配置

全自動クリーニングステーションを平坦で硬い床の上に置き、壁に寄せて設置してください。左右5 cm以内、前方80 cm以内に障害物を置かないでください。



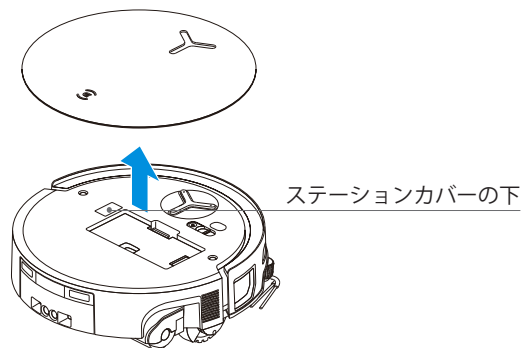
注：

- ・鏡や光を反射する幅木などの反射物がステーションの近くにある場合は、その反射物の下から14 cmを覆う必要があります。
- ・ステーションを直射日光の当たる場所や高温の場所に置かないでください。
- ・Wi-Fi 信号が強い場所にステーションを設置することで、より快適にご利用いただけます。
- ・濡れた床や水が溜まっている床で本製品を使用しないでください。
- ・床に小石やおもちゃなど硬い物が残っていると、床に傷がつく原因になります。ご使用前に必ず片付けてください。
- ・設置する床材の取扱説明書、注意事項をよくご確認ください。
- （ゴムの接触による変色に注意喚起されている床材の場合は、本製品の設置により変色する恐れがある。）
- ・設置場所によってはクッションラバーの跡が残る場合がありますのでご注意ください。

③ ECOVACS HOME アプリをダウンロード

利用可能なすべての機能を活用するために、ECOVACS HOME アプリから DEEBOT を操作することをおすすめします。

トップカバーの下の QR コードをスキャンし、ECOVACS HOME アプリをダウンロードします。



または、App Store または Google Play で「ECOVACS HOME」を検索し、ECOVACS HOME アプリをダウンロードします。



注：アプリの指示に従って、登録、ログイン、接続を完了してください。

4 DEEBOT とアプリの接続

DEEBOT をオンにし、アプリ内の  または [スキャンしてロボットを追加](#) をタップしてから、表示される指示に従ってネットワーク設定を開始してください。

Wi-Fi ネットワークの要件：

- 2.4 GHz または 2.4/5 GHz 混合ネットワークを使用していること。
- ルーターが 802.11b/g/n および IPv4 プロトコルに対応していること。
- VPN（バーチャルプライベートネットワーク）やプロキシサーバーを使用しないでください。
- 非公開ネットワークを使用しないでください。
- WPA および WPA2 で TKIP、PSK、AES/CCMP 暗号化を使用する。
- WEP EAP（エンタープライズ認証プロトコル）には対応していません。
- 北米では Wi-Fi チャンネルに 1～11、北米以外ではチャンネルに 1～13 を使用してください（地域の規制機関を参照のこと）。
- ネットワーク中継機 / リピータを使用している場合は、ネットワーク名（SSID）とパスワードはプライマリネットワークと同じにしてください。
- ルーターで WPA2 を有効にしてください。

Wi-Fi表示灯

	白色でゆっくり点滅	Wi-Fi 接続なし
	白色で素早く点滅	接続中
	白色で点灯	Wi-Fi 接続済み

遠隔起動、音声操作、2D/3Dマップの表示と制御設定、パーソナライズされた清掃（製品によって異なります）などのインテリジェント機能には、常に更新されている ECOVACS HOME アプリが必要です。お客様がアプリの特定の機能を使用し、本製品を操作するには、当社がお客様の基本的かつ必要な情報の一部を処理できるようにするために、当社のプライバシーポリシーおよび利用規約にお客様が同意する必要があります。当社のプライバシーポリシーおよび利用規約に同意いただけない場合、上記の機能はご利用いただけません。ただし、手動操作では本製品の基本機能を引き続き使用できます。

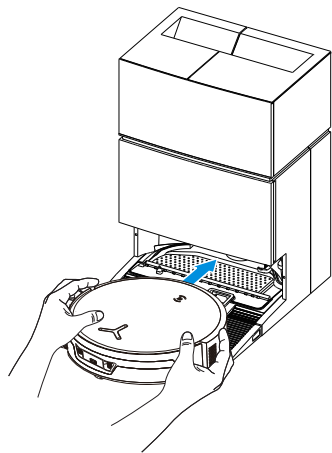
ネットワークインターフェースに関する情報

部品名	説明
赤外線インターフェース	赤外線インターフェースはデフォルトでオフになっています。DEEBOT が充電ドックに戻るとオンになります。DEEBOT が充電ドックにあるときに、赤外線インターフェースを介して充電ドックと通信します。
Bluetooth	ネットワーク設定中に DEEBOT をネットワークに接続するには、Bluetooth をオンにします。Bluetooth は、設定とデータ交換を安全に行うため、GAP1800、GATT 1801、8888 サービスを利用します。
Wi-Fi ネットワーク設定 *	アプリと DEEBOT 間のデータ転送を可能にし、アプリで DEEBOT を操作できるようにします。
ECOVACS HOME アプリ	ECOVACS 製品は、ネットワーク設定、マッピング、清掃モード選択などのスマート機能を提供します（機能は製品ごとに異なります）。これらの機能を利用するには、公式の ECOVACS HOME アプリをダウンロードして使用する必要があります。

* DEEBOT シリーズのロボット掃除機は、家庭の清掃シーンに合わせて設計されています。動作には家庭用 Wi-Fi ネットワークが必要です。ユーザーはルーター設定でアンチ DDoS 保護を設定する必要があります。

⑤ DEEBOT の電源オンと充電

DEEBOTをステーションに戻してください。「充電を開始します」という音声案内は、ドッキングが正常に完了し、充電中であることを示しています。DEEBOTの使用を開始する前に、ECOVACS HOMEアプリでマップを作成してください。

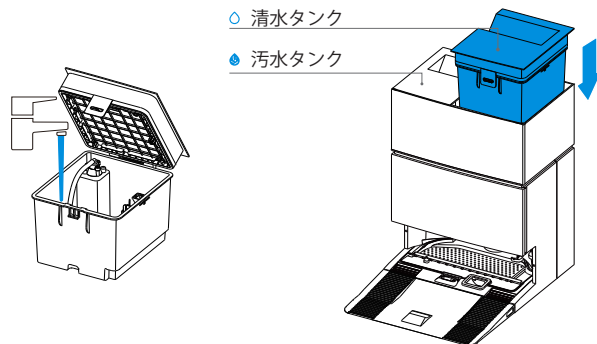


注：

- DEEBOT は電源がオフになっていると充電できません。
- 清掃後、DEEBOT が次の清掃に備えるために、電源をオンにしたまま充電しておくことをお勧めします。
- 清掃後、DEEBOT がスムーズに充電に戻れるように、清掃はステーションから開始し、清掃中にステーションを動かさないでください。

⑥ 清水タンクに水を入れる

清水タンクを取り出し、水タンクカバーを開けて、タンクに水道水を入れます。水タンクカバーを閉じ、清水タンクを再度取り付けます。

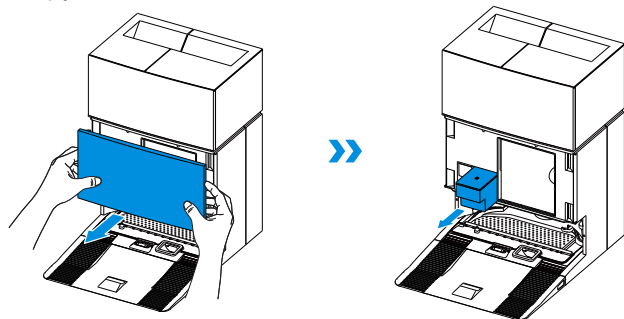


注：

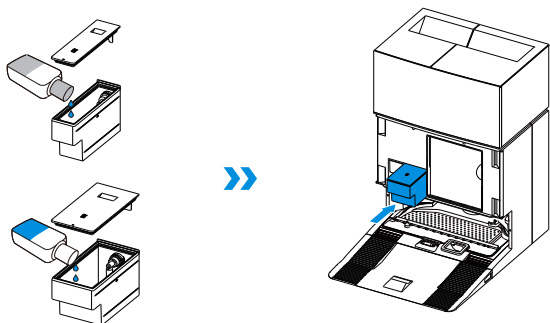
- 異常を避けるため、ECOVACS DEEBOT 専用洗浄液のみを使用してください。
- タンクを設置する前に、清潔な乾いた布クロスでタンク表面の水分を拭き取ってください。
- 使用前に、両方の水タンクの上部カバーを確実にロックしてください。
- 水タンクに水跡がある場合がありますが、工場出荷前の検品によるものです。安心してお使いください。

7 洗浄液の追加

1. 集塵ボックスのカバーを外し、2つの洗浄液ボックスを引き出し、硬い水平面に置きます。

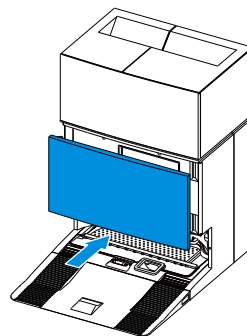


2. DEEBOT専用洗浄液を青いボックスに、DEEBOT専用強力洗浄液を黒いボックスに注ぎます。ボックスの蓋を閉じたら、ステーションに押し戻し、タンクの蓋を閉めます。



注： 清水タンクに洗浄液を注がないでください。洗浄液は、洗浄液タンクに入れてください。洗浄液を清水タンクに入れると、配合比率の問題で泡が立ちすぎたり、洗浄効果が低下したりする場合があります。

3. 集塵ボックスのカバーを戻し、カバーをしっかりと押して固定します。



注：

- 洗浄液を入れ過ぎないでください。蓋を固定するときに洗浄液があふれる恐れがあります。DEEBOT 専用洗浄液を定期的に使用しない場合は、この手順を省略できます。また、アプリで「自動洗浄液ディスペンサー機能」を無効にすることも可能です。
- 製品の性能を改善し、より長持ちさせるには、ECOVACS DEEBOT 専用洗浄液をご使用ください。
- 洗浄液ボックスに異物が入らないようにご注意ください。

⑧ DEEBOT の清掃操作

1. マッピングの開始

初めてマップを作成するときは、DEEBOT に付き添い、問題が発生した場合は必要に応じて対応してください。

例えば、DEEBOT は家具の下に入って動けなくなることがあります。次の解決策を参考にしてください。

- ① 低い家具の下に DEEBOT が入り込まないように、必要に応じて家具を高くしてください。
- ② 家具の下に入り込まないように、物理的な障壁を設置してください。
- ③ アプリで仮想壁を設定します。

2. 清掃の開始

- DEEBOT の水タンクはステーションによって自動で給水されます。手動で補充する必要はありません。
- 水拭きをするとき、DEEBOT は床の種類を認識し、カーペットを検知すると自動的にモップを持ち上げます。長毛カーペットやラグの上では、DEEBOT を使用しないでください。清掃中は、長毛カーペットはたたむか、アプリでカーペットが敷かれた場所に仮想壁を設定して立ち入り禁止ゾーンに指定することをおすすめします。

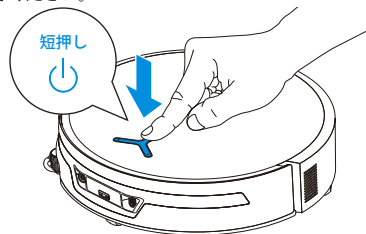
初めて清掃を行う前に、DEEBOT がステーション内にあり、フル充電されていることを確認してください。DEEBOT の  をタップして開始します。ECOVACS HOME アプリや音声操作を使って開始することもできます。

3. 一時停止

DEEBOT の  をタップすると、DEEBOT が動作中に一時停止します。ECOVACS HOME アプリや音声操作を使って DEEBOT を一時停止することもできます。

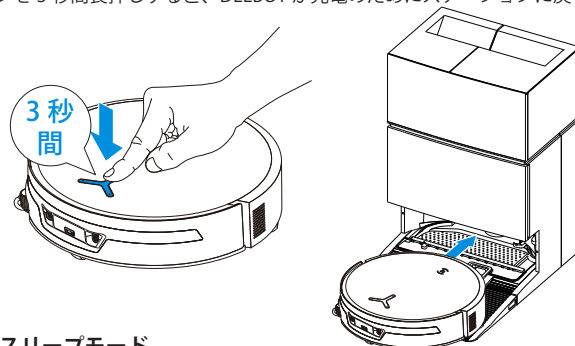
4. 起動

しばらく停止すると、DEEBOT のすべての表示ランプが消灯します。DEEBOT を起動するには、 を押してください。



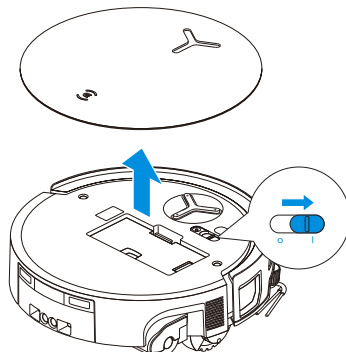
5. ステーションに戻る

ECOVACS HOME アプリまたは音声操作で DEEBOT を呼び出するか、DEEBOT の  ボタンを 3 秒間長押しすると、DEEBOT が充電のためにステーションに戻ります。



6. スリープモード

DEEBOT は、約 10 時間ステーションの外に留まると、バッテリーを保護するためにスリープモードに入ります。DEEBOT を起動するには、電源を一度オフにしてからオンにしてください。



DEEBOT が作業中にステーションに戻ると、デフォルトで PowerBoost Charging が開始され、約 5 分間続きます。その後、通常充電に切り替わり、フル充電になると自動的に停止します。

定期的なメンテナンス

① メンテナンス頻度

DEEBOT の性能を最適に保つため、次の頻度でメンテナンス作業や部品の交換を実行してください。

表のメンテナンス頻度はあくまでも参考です。汚れの付着度合いはご使用状況により違いますので、汚れがひどい場合は適時清掃してください。

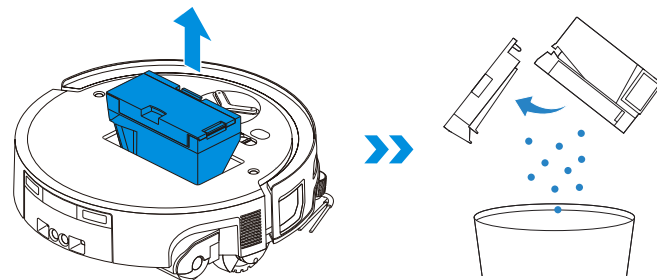
部品	メンテナンス 頻度	交換 頻度
洗えるローラーモップ	/	1～2 カ月ごと
水受けトレイ	毎週	/
ダストバッグ	/	アプリからの通知 があったとき
サイドブラシ	2 週ごと	3～6 カ月ごと
メインブラシ、メインブラシカバー	毎週	6～12 カ月ごと
フィルター	毎週	3～6 カ月ごと
キャスター 落下防止センサー バンパー DEEBOT の充電端子 全自動クリーニングステーションの充 電端子 ナビゲーションモジュール 障害物回避モジュール	ほぼ毎月	/
清水タンク	3 カ月ごと	/
汚水タンク	毎月	/
ステーション本体と底部	毎月	/
モップ洗浄トレイ用交換フィルター	2 週ごと	/
洗浄液ユニット	毎月	/

注：その他のアクセサリーについては、ECOVACS HOME アプリまたは <https://www.ecovacs.com> をご参照ください。

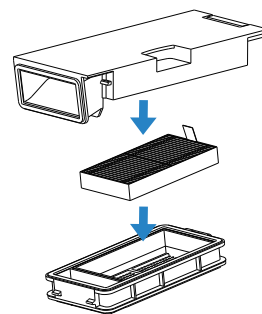
② DEEBOT メンテナンス

1. ダストボックスとフィルターのお手入れ

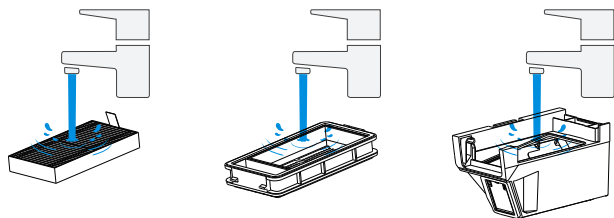
1. ダストボックスを取り外して、空にします。



2. フィルターネットを開いて、フィルターを取り外します。



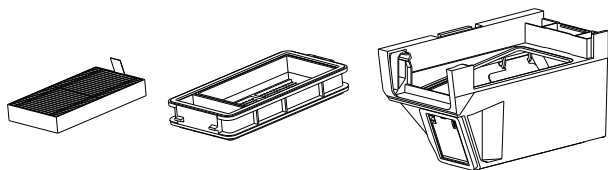
3. ダストボックスとフィルターを水ですすぎ、水滴を振り落とします。



注：

- 上記のように、フィルターを水ですすいでください。
- フィルターの清掃に指やブラシを使用しないでください。

4. ダストボックスとフィルターを自然乾燥します。

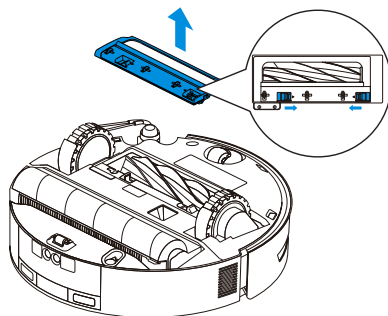


注：使用前に部品を完全に乾かしてください。

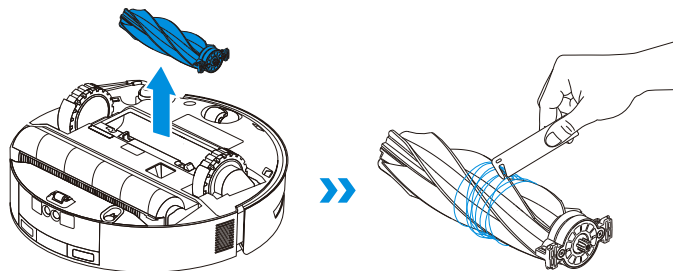
2. メインブラシとサイドブラシのお手入れ

メインブラシの清掃

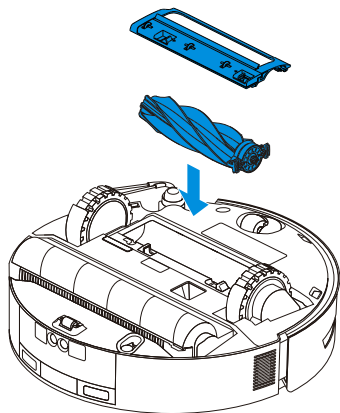
1. メインブラシのカバーを取り外します。



2. メインブラシを取り外し、メインブラシと収納部分を清掃します。。

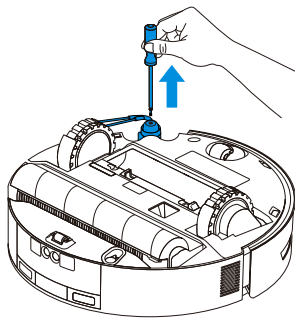


3. メインブラシとカバーを取り付けます。



サイドブラシの清掃

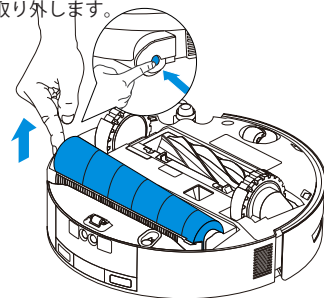
サイドブラシをドライバーで取り外して清掃します。



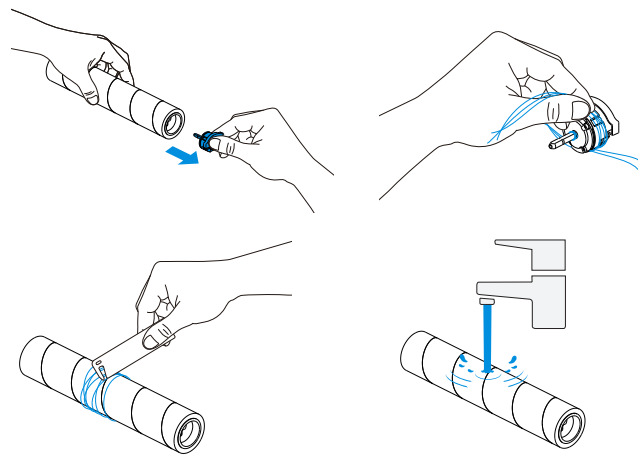
3. ローラー部品のメンテナンス

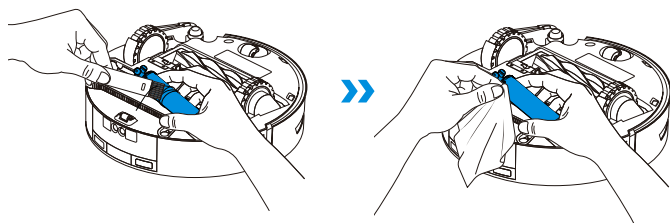
ローラーモップの清掃

1. ローラーモップの側面にあるローラーリリースボタンを押し、そっと持ち上げて、ローラーモップを取り外します。



2. ローラー端カバーを取り外し、ローラーモップを洗浄して乾かします。ローラー収納部を、水気を絞った湿った布で拭きます。

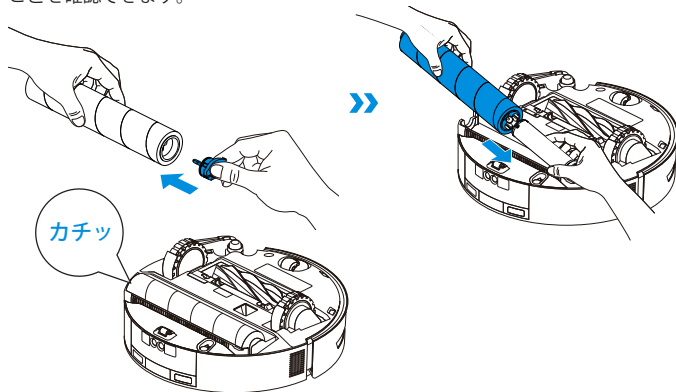




注：

- 損傷を防ぐため、清掃中はローラーモーターの部品を無理に引っ張らないでください。
- DEEBOT を水ですすぎないでください。

3. ローラー端カバーを取り付け直し、ローラーモップをモーターに取り付けます。モップを配置したら、ローラーリリースボタンをローラー収納部側面の溝に合わせて押し込みます。「カチッ」という音で、モップが正しく取り付けられたことを確認できます。

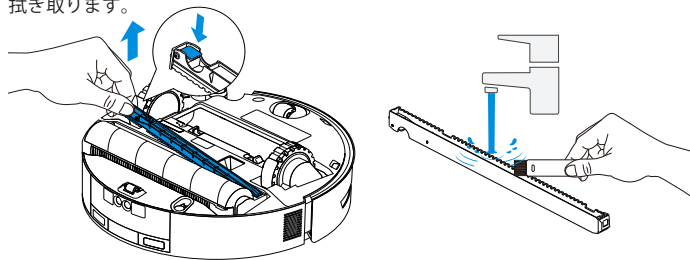


注： その他のアクセサリーについては、ECOVACS HOME アプリまたは <https://www.ecovacs.com> をご参照ください。

4. 水受けトレイのメンテナンス

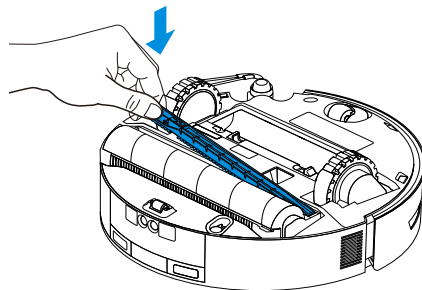
水受けトレイの清掃

1. リリースボタンを押して水受けトレイを跳ね上げて取り外し、洗浄して水気を拭き取ります。



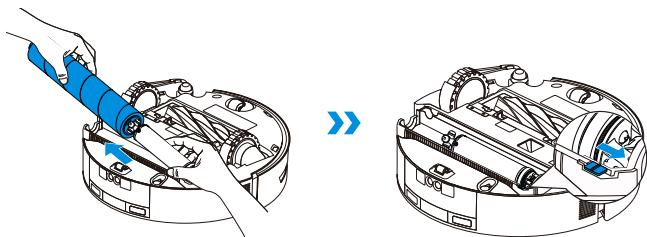
注： 乾燥モードを実行していない場合や、完了する前に本体を裏返すと、内部に残った少量の水が漏れることがあります。

2. 水受けトレイを元の位置に戻し、しっかりと固定されるまで押し込みます。

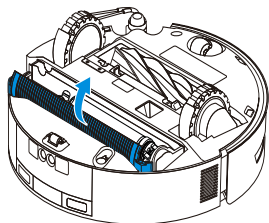


5. ロールーモップカバーの清掃

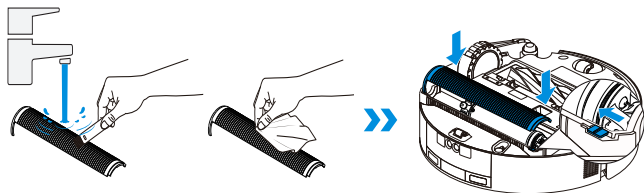
1. ロールーモップを取り外した後ローラーモップカバーのリリーススイッチを右にスライドさせてロック解除します。



2. ロールーモップカバーをローラー収納部の溝の部分で持ち、軽くひねりながら引き抜きます。

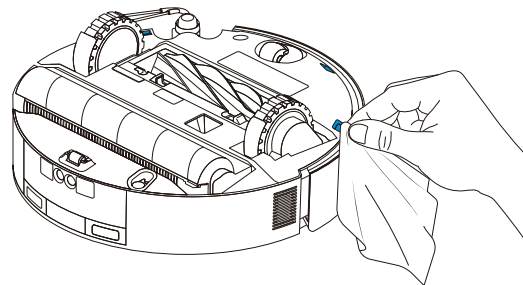


3. ロールーモップカバーを清掃して乾燥させたら、その軸の位置をローラー収納部左側のレールに合わせて取り付け直し、リリーススイッチをロックします。

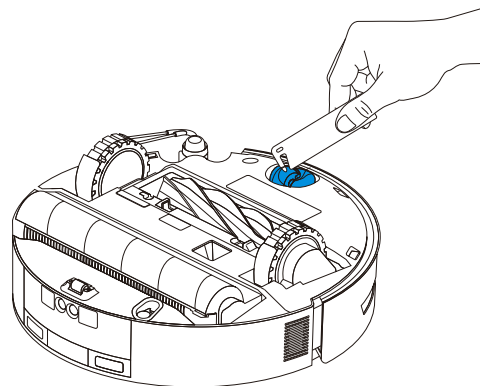


6. その他の部品のお手入れ

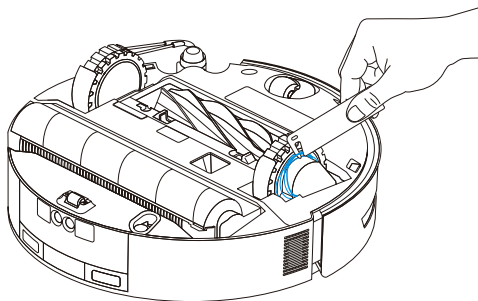
落下防止センサーの清掃



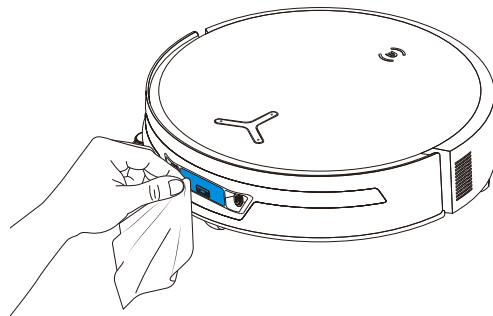
キャスターの清掃



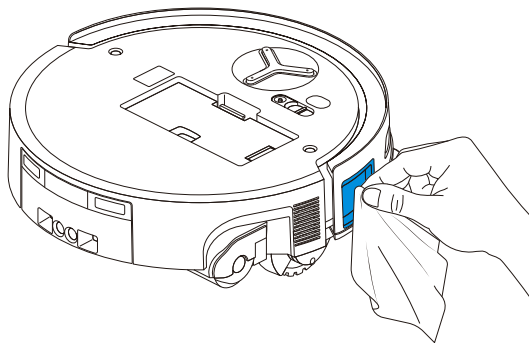
駆動輪の清掃



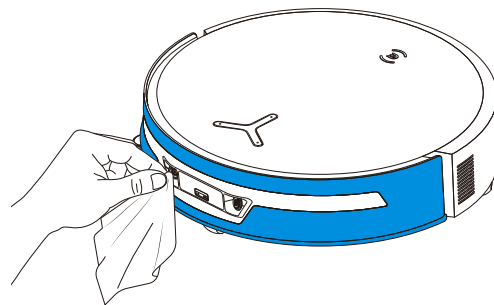
障害物回避モジュールレンズを清掃



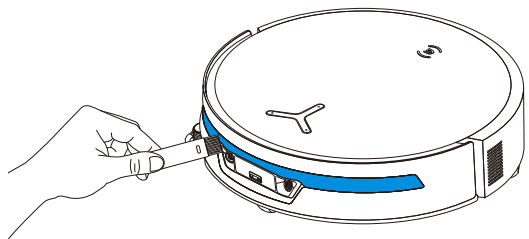
エッジセンサーの清掃



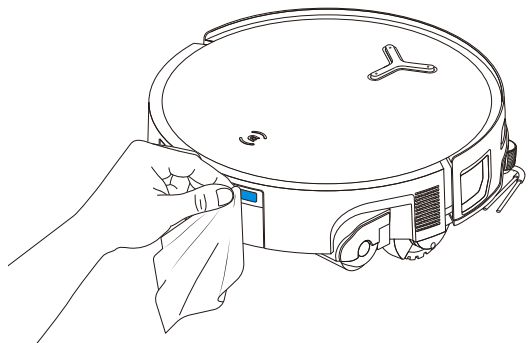
バンパーの清掃



ナビゲーションモジュールの清掃



充電端子の清掃



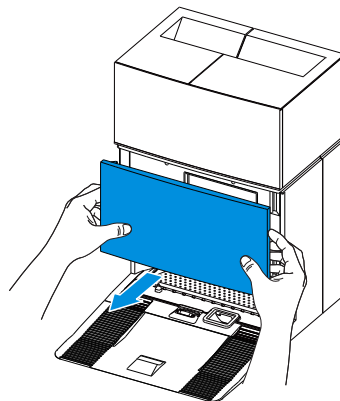
注：

- 部品はきれいな乾いた布クロスで拭いてください。濡れたクロスは絶対に使用しないでください。水分は損傷の原因となるため、クリーングスプレーや洗剤は使用しないでください。
- 充電端子には繊細な電子部品が含まれています。乾いた布クロスで拭いてください。水による損傷を防ぐため、濡れたクロスは使用しないでください。

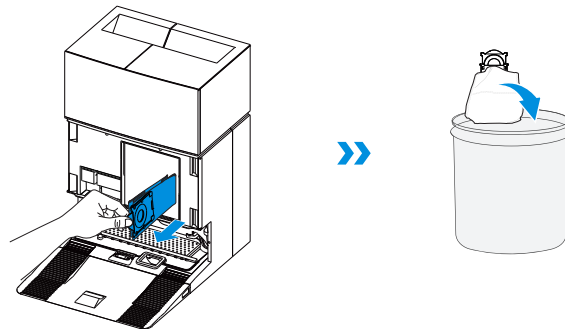
③ ステーションメンテナンス

1. ダストボックスのメンテナンス

1. 集塵ボックスのカバーを外します。

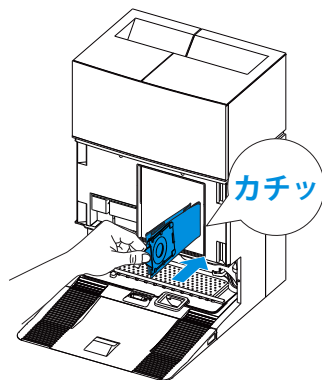


2. 使い捨てダストバッグを矢印の方向に取り外し、廃棄してください。

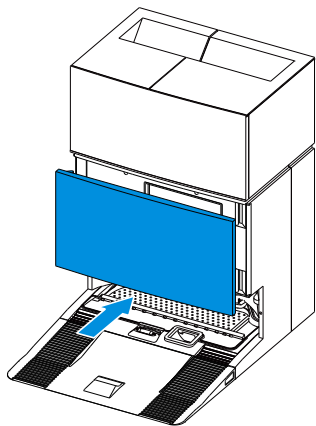


- 注：ほこりが漏れないよう、ハンドルを持ち上げてダストバッグを取り出します。

3. ゴミ収集容器を乾いた布クロスで拭き、新しいダストバッグを取り付けます。

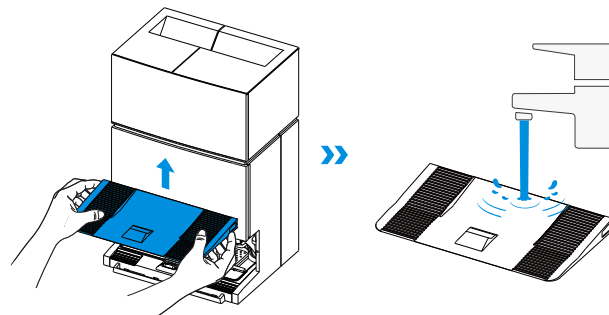


4. ゴミ収集容器のカバーの上部ラッチをスロットに挿入し、下方向に押し込んで正しく密閉してください。

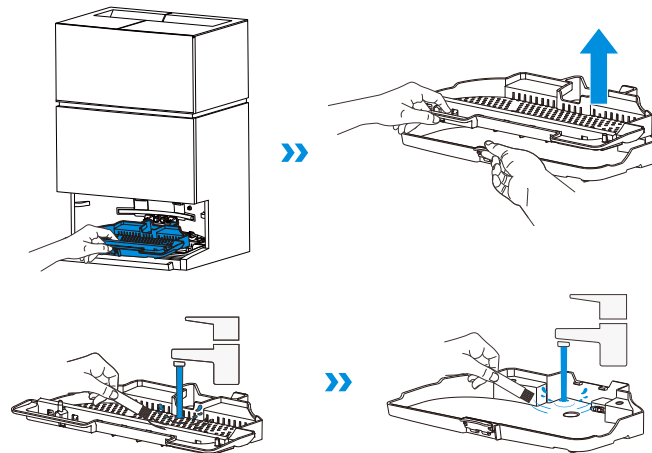


2. モップ洗浄トレイのお手入れ

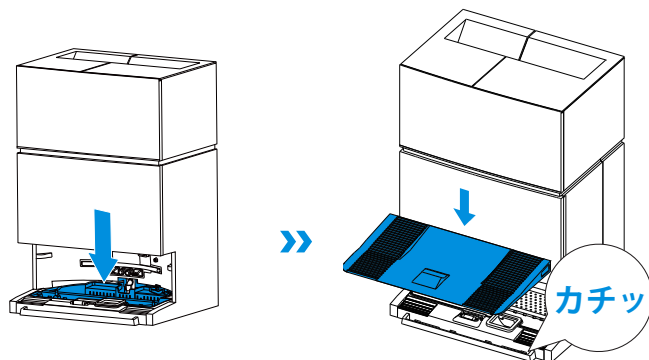
1. ステーションベースを取り外し、清掃してください。



2. モップ洗浄トレイを取り外します。トレイのラッチを押して交換用フィルターを取り外し、清掃します。



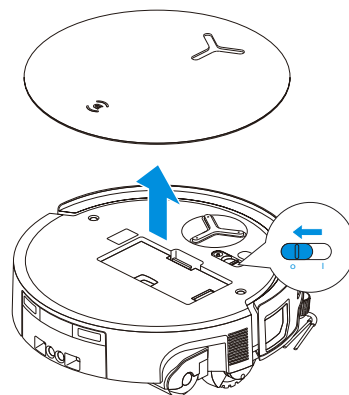
3. モップ洗浄の交換用フィルター、トレイ、ステーションベースを順に取り付け直します。「カチッ」という音で、しっかりと固定されたことを確認できます。



注：使用する前に正しく取り付けてください。

④ 長期間未利用の保管

保管する前に DEEBOT を完全に充電し、スイッチをオフにしてください。バッテリーの過放電を防ぐため、1.5 ヶ月ごとに再充電してください。



！ DEEBOT は電源オフの状態では充電できませんのでご注意ください。

注：

- DEEBOTが清掃作業を終えた後は、次の清掃に備えるため、電源をオフにせずに充電し続けることをお勧めします。
- バッテリーが過放電になったり、長期間使用されなかった場合、DEEBOTが充電されないことがあります。
この場合は、ECOVACSお客様相談センターまでお問い合わせください。自分でバッテリーを分解しないでください。
- DEEBOTを長期間使用しない場合は、アプリの「デバイスの移動」機能を使用してDEEBOT内部の清水を排出し、ステーションの水タンクを空にした状態でローラーモップを乾かしてください。

故障かな？と思ったら

製品の使用中に以下のような状況が発生した場合は、下表の対処方法を参照してください。

No.	異常	考えられる原因	対処方法
1	DEEBOT がアプリに接続できない。	入力したネットワーク名（SSID）またはパスワードが間違っています。	正しい Wi-Fi ユーザー名とパスワードを入力してください。
		DEEBOT がご自宅の Wi-Fi 信号の範囲内にありません。	DEEBOT がご自宅の Wi-Fi 信号の範囲内にあることを確認してください。できるだけルーターの近くに設置してください。
		DEEBOT が設定状態になっていません。	リセットボタンを押して、DEEBOT を Bluetooth でお手持ちのスマートフォンに接続します。失敗した場合は、リセットボタンと  を押し、アプリ経由で接続してください。
		Wi-Fi リストにご自宅の Wi-Fi がありません。	Wi-Fi 名に特殊文字が含まれていないか確認してください。次のような特殊文字は使用できません。!@#&¥%/\n5 GHz ネットワークは使用しないでください。
		誤ったアプリがインストールされています。	アプリをダウンロードしてインストールしてください。
2	アプリで家具マップを作成できません。	清掃中に DEEBOT を移動すると、マップが失われることがあります。	清掃中は DEEBOT を動かさないでください。
		自動清掃が完了していません。	清掃後、DEEBOT が自動的に全自動クリーニングステーションに戻ることを確認してください。
		2 つ目のマップ作成時にマルチフロアモードが有効化されていませんでした。	アプリでマルチフロアモードを有効にしてください。
3	使用中にサイドブラシが外れる。	サイドブラシが正しく取り付けられていません。	ドライバーでサイドブラシを取り付ける際に、ネジがしっかり締まっていることを確認してください。

No.	異常	考えられる原因	対処方法
4	信号が見つかりません。ステーションに戻れない。	全自動クリーニングステーションが正しく設置されていません。	[DEEBOT の電源オンと充電] セクションの指示に従って、ステーションを正しく設置してください。
		ステーションの電源が切れているか、移動されています。	全自動クリーニングステーションが電源に接続されているか確認してください。全自動クリーニングステーションを移動しないでください。
		DEEBOT が全自動クリーニングステーションから清掃を開始していません。	DEEBOT は全自動クリーニングステーションから清掃を開始することをお勧めします。
		ドッキングルートがブロックされています。たとえば、全自動クリーニングステーションが設置されている部屋の扉が閉まっている場合などです。	充電経路に遮蔽物がないようにしてください。
5	清掃が終了する前に DEEBOT が全自動クリーニングステーションへ戻ってしまふ。	部屋が広い場合、DEEBOT は充電のために戻る必要があります。	中断後再開清掃機能を有効にしてください。詳細については、アプリの指示に従ってください。
		家具や囲いで遮られていて、DEEBOT が到達できない場所があります。	家具や日用品を適切な位置に置いて、清掃する場所を片付けてください。
6	DEEBOT が充電できない。	DEEBOT がオンになっていません。	DEEBOT をオンにしてください。
		DEEBOT の充電端子が全自動クリーニングステーションの充電端子に接続されていません。	DEEBOT の充電端子がステーションの充電端子に接続されており、  が点滅していることを確認してください。DEEBOT と全自動クリーニングステーションの充電端子が汚れていないか確認してください。[定期的なメンテナンス] セクションの指示に従って、これらの部品を清掃してください。
		全自動クリーニングステーションが電源に接続されていません。	1. 全自動クリーニングステーションが電源に接続されているか確認します。 2. 電源を接続したら、モーター起動音が聞こえるか確認します。
		ベースが正しく設置されていません。	[クイックスタート] セクションを参照して、正しく設置してください。
7	DEEBOT が清掃中に非常に大きな音を立てる。	メインブラシ / サイドブラシ / ローラーモップが絡まっているか、ダストボックスが詰まっています。	メインブラシ、サイドブラシ、ダストボックス、ローラーモップなどを定期的に清掃することをおすすめします。
		DEEBOT が強力吸引モードまたは最大吸引力モードになっています。	吸引力を「静音モード」に設定できます。「静音モード」では、清掃性能が低下する場合があります。

No.	異常	考えられる原因	対処方法
8	DEEBOT が作業中に動けなくなって停止します。	DEEBOT が床の上の物（電線、カーテン、カーペットの縁など）に絡まっています。	DEEBOT は様々な方法で脱出を試みます。失敗した場合は、手で障害物を取り除いて再起動してください。
		DEEBOT が、同じような高さの入り口がある家具の下で動けなくなっているかもしれません。	家具の高さを上げるか、物理的な障壁を設けるか、ECOVACS HOME アプリで仮想壁を設定してください。
		DEEBOT が狭いエリアで動けなくなっています。	ご自宅を片付けるか、物理的な障壁を設けるか、ECOVACS HOME アプリで仮想壁を設定してください。
9	清掃中、ルートが乱れたり、動きが偏ったり、同じ場所を繰り返し清掃したり、小さな領域を見落とすといった問題に DEEBOT が遭遇することがある。	可能性として、通行を阻まれたことが理由で、広い範囲が清掃されませんでした。	部屋の扉が開いていることを確認し、スリッパや床にのびたコードなど、障害物になりそうなものを片付けてください。DEEBOT は、清掃セッションが終了する前に、補足的な清掃を行います。
		DEEBOT が階段や敷居、ドアストリップに乗り上げた場合、駆動輪が床面でスリップすることがあり、室内環境全体の判断に影響を与えることがあります。	その部屋の扉を閉めて、個別に清掃することをおすすめします。清掃後、DEEBOT は開始位置に戻ります。この方法を使用すると確実に清掃できます。
		ワックスをかけたり磨いたりしたばかりの床や、滑りやすいタイルの上では、駆動輪と床の間の摩擦が少なくなることがあります。	床用ワックスが乾くのを待ってから清掃してください。
10	全自動クリーニングステーションに戻った後、DEEBOT がダストボックスを空にしない。	アプリで自動集塵機能がオンになっていません。	アプリで自動集塵機能をオンにしてください。
		DEEBOT を手動でステーションに戻すと、自動集塵機能が作動しません。	DEEBOT が全自動クリーニングステーションに自動で戻るようにすることをお勧めします。手動で移動させないでください。
		おやすみモードでは、DEEBOT が全自動クリーニングステーションに戻ってもゴミを空にしません。	アプリで「通知を停止する」をオフにするか、手動でゴミ収集を開始します。
		ステーションがゴミ収集の効率低下を検出しています。	[定期的なメンテナンス] のセクションに従ってダストバッグを交換し、集塵ボックスを閉めてください。アプリの通知があったときにダストバッグがいっぱいではなかった場合、再度戻してください。
		ダストボックスがいっぱいになって詰まっていないか確認します。	[定期的なメンテナンス] セクションに従ってダストボックスを清掃してください。
		上記の原因が該当しない場合、ステーションの部品に異常がある可能性があります。	ECOVACS お客様相談センターにお問い合わせください。

No.	異常	考えられる原因	対処方法
11	自動ゴミ収集に失敗した。	ステーションがゴミ収集の効率低下を検出しています。	【定期的なメンテナンス】 の手順に従ってダストバッグを交換し、集塵ボックスの扉を閉めてください。交換時期の通知が表示されたにもかかわらず、バッグが満杯でない場合は、バッグを取り外して再度挿入し、キャビンをしっかり閉じてください。
		ダストボックスのダスト排出口が異物でふさがれています。	ダストボックスを取り外し、ダスト排出口の異物を取り除いてください。
12	集塵ボックスの内側が汚れています。	微粒子はダストバッグを通過し、集塵ボックスの内壁に蓄積します。	集塵ボックスの内側を清掃してください。
		ダストバッグが破れています。	ダストバッグを確認し、交換してください。
		ダストバッグが正しく取り付けられていません。	ダストバッグを正しく取り付けてください。
		ゴミ収集容器のカバーが閉まっていません。	ゴミ収集容器のカバーが正しく閉められているか確認してください。
13	DEEBOT の動作中にゴミが漏れる。	ダストボックスのダスト排出口が異物でふさがれています。	ダストボックスを取り外し、ダスト排出口の異物を取り除いてください。
14	ローラーモップが回転しない。	ローラーモップが正しく取り付けられていません。	【定期的なメンテナンス】 セクションに従って、ローラーモップを正しく取り付けてください。
		ローラーモップに異物が詰まっています。	【定期的なメンテナンス】 セクションに従って、ローラーモップを正しく清掃して取り付けてください。
15	駆動輪が動かなくなっている。	駆動輪が異物によって絡まったり、詰まったりしています。	駆動輪を回転させたり押ししたりして、異物が巻き付いていないか、引っかかっていないかを確認してください。異物が見つかった場合は、速やかに清掃してください。それでも問題が解決しない場合は、ECOVACS お客様相談センターにお問い合わせください。

No.	異常	考えられる原因	対処方法
16	モップ洗浄トレイが水でいっぱい、排水できない。 モップ洗浄トレイの異常を知らせる音声案内が流れる。	汚水タンクが正しく取り付けられていません。	汚水タンクを押し下げて、正しく取り付けられていることを確認してください。
		汚水タンクの封閉キャップが正しく取り付けられていません。	2つの封閉キャップが正しく取り付けられていることを確認してください。
		モップ洗浄トレイが正しく取り付けられていません。	モップ洗浄トレイが正しく取り付けられていることを確認してください。
		モップ洗浄トレイベースに水がないときにフロートボールが詰まっていないか確認してください。	モップ洗浄トレイを取り出し、フロートボールを元の位置に戻してください。
		全自動クリーニングステーションが正常に排水できません。	DEEBOT をステーションに置いてください。充電が開始したことを確認して、🌀をダブルタップします。それでも問題が解決しない場合は、ECOVACS お客様相談センターにお問い合わせください。
		モップ洗浄トレイの吸引口が異物やゴミでふさがれています。	モップ洗浄トレイとそのフィルターを清掃し、吸入部に異物がないことを確認してください。
		上記の解決策をすべて試しても、音声アラートが消えません。	ステーションの電源をオフにしてから再度オンにしてください。それでも問題が解決しない場合は、ECOVACS お客様相談センターにお問い合わせください。
17	モップトレイを乾かしている最中に大きな音がする	ダストボックス乾燥機能をオンにするとノイズが増加する	アプリでダストボックス乾燥機能をオフにする
18	汚水タンク加熱機能の不具合	アプリで汚水タンク加熱機能が無効になっている	アプリで汚水タンク加熱機能を有効にする
		汚水タンクの加熱が予約されている時間帯に、DEEBOT が清掃、乾燥、充電などの他の作業を実行している	アプリで汚水タンクの加熱スケジュールを手動で調整し、この時間帯にタスクが実行されないようにする
		汚水タンクの底に残った水が短絡を引き起こし、ステーションが保護措置として電源を遮断した	1. 汚水タンクの外側底部と、ステーション側の対応する接触スプリングに水分が残っていないか確認してください。加熱中に短絡が起こらないよう、ティッシュペーパーで水分を拭き取ります。2. 汚水タンクの排水を空にしたり、日課のタンク表面清掃を実施したりする際は、タンク外側の底面を完全に乾いた状態に保ってください。加熱不具合のリスクを軽減するため、底面が水に直接触れないようにしてください。

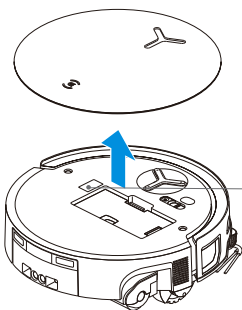
推奨された解決策を試しても問題が解決しない場合、ECOVACS お客様相談センターにお問い合わせください。

技術仕様

型番	ZJ2570		
定格入力	17.8 V === 2 A	急速充電時入力	16.4 V === 10.5 A
充電時間	約 2.5 時間		
ステーションモデル	CH2620		
ステーション定格入力	100 V ~ 50-60 Hz/0.5A		
ステーション公称定格出力	17.8 V === 2 A	急速充電出力 (短時間)	16.4 V === 10.5 A
定格入力電流 (充電時)	3 A	電流 (ゴミ収集時)	3 A
電流 (温水洗浄モップ)	4.5 A		
電力 (汚水タンクの加熱)	90W		
周波数帯	2400-2483.5 MHz		
ネットワークスタンバイ電力	2.00 W 未満		

無線モジュールの出力電力は 100 mW 未満です。

注: 継続的な製品改良のため、技術仕様および設計仕様は変更される場合があります。
その他のアクセサリーについては、<https://www.ecovacs.com> をご参照ください。



モバイルカメラで QR コードをスキャンして、
ユーザーガイドを入手してください。

IMPORTANT SAFETY INSTRUCTIONS

When using an electrical Appliance, basic precautions should always be followed, including the following:

READ ALL INSTRUCTIONS BEFORE USING THIS APPLIANCE SAVE THESE INSTRUCTIONS

1. This Appliance is not intended for use by persons (including children) with reduced physical, sensory or mental capabilities, or lack of experience and knowledge, unless they have been given supervision or instruction concerning use of the Appliance by a person responsible for their safety.
2. Children should be supervised to ensure that they do not play with the Appliance.
3. Clear the area to be cleaned. Remove power cords and small objects from the floor that could entangle the Appliance. Tuck rug fringe under the rug base, and lift items such as curtains and tablecloths off the floor.
4. If there is a drop off in the cleaning area due to a step or stairs, you should operate the Appliance to ensure that it can detect the step without falling over the edge. It may become necessary to place a physical barrier at the edge to keep the unit from falling. Make sure the physical barrier is not a trip hazard.
5. Only use as described in this manual. Only use attachments recommended or sold by the manufacturer.
6. For INDOOR household use ONLY. Do not use the Appliance in outdoor, commercial or industrial environments.
7. Do not use without dust bin and/or filters in place.
8. Do not operate the Appliance in an area where there are lit candles or fragile objects.
9. Keep hair, loose clothing, fingers, and all parts of body away from any openings and moving parts.
10. Do not use and store in extremely hot or cold environments (below 0°C /32°F or above 40°C/104°F). Please charge the robot in temperature above 0°C/32°F and below 40°C/104°F.
11. Do not operate the Appliance in a room where an infant or child is sleeping.
12. Do not use Appliance on wet surfaces or surfaces with standing water.

13. Do not allow the Appliance to pick up large objects like stones, large pieces of paper or any item that may clog the Appliance.
14. Do not use Appliance to pick up flammable or combustible materials such as gasoline, printer or copier toner, or use in areas where they may be present.
15. Do not use Appliance to pick up anything that is burning or smoking, such as cigarettes, matches, hot ashes, or anything that could cause a fire.
16. Do not put objects into the suction intake. Do not use if the suction intake is blocked. Keep the intake clear of dust, lint, hair, or anything that may reduce air flow.
17. If the power cord is damaged, it must be replaced by the manufacturer or its service agent in order to avoid a hazard.
18. Turn OFF the power switch before cleaning or maintaining the Appliance.
19. The lithium battery type suitable for CH2620 is Max. 4 cells, max. nominal voltage DC 14.4V, rated capacity 3,600mAh. The battery must be removed and discarded according to local laws and regulations before disposal of the Appliance. Regarding the disposal of the products, including

the built-in lithium-ion battery, disposal methods vary depending on your local municipality. Please dispose of the product in accordance with your local regulations. If you are unsure of the proper disposal method, please contact your local municipality.

If you find it difficult to dispose of the product yourself, you may send it to ECOVACS Customer Center at your own expense (shipping fee prepaid), and we will handle it free of charge. Please note that parts and components will not be returned in this case.

20. Please dispose of used batteries according to local laws and regulations.
21. Do not incinerate the Appliance even if it is severely damaged. The batteries can explode in a fire.
22. The Appliance must be used in accordance with the directions in this Instruction Manual. Ecovacs Home Service Robotics cannot be held liable or responsible for any damages or injuries caused by improper use.
23. The robot contains batteries that are only replaceable by skilled persons. To replace the robot's battery, please contact Customer Service.
24. Please make sure your power supply source

- voltage matches the power voltage marked on the OMNI Station.
25. Use only the original rechargeable battery and OMNI Station provided with the Appliance from the manufacturer. Non-rechargeable batteries are prohibited.
 26. Take care not to damage the power cord. Do not pull on or carry the Appliance or OMNI Station by the power cord, use the power cord as a handle, close a door on the power cord, or pull power cord around sharp edges or corners. Do not run Appliance over the power cord. Keep power cord away from hot surfaces.
 27. Do not use the OMNI Station if it is damaged. The power supply is not to be repaired and not to be used any longer if it is damaged or defective.
 28. Do not use with a damaged power cord or receptacle. Do not use the Appliance or OMNI Station if it is not working properly, has been dropped, damaged, left outdoors, or come in contact with water. It must be repaired by the manufacturer or its service agent in order to avoid a hazard.
 29. The plug must be removed from the receptacle before cleaning or maintaining the

OMNI Station.

30. Remove the Appliance from the OMNI Station, and turn OFF the power switch to the Appliance before removing the battery for disposal of the Appliance.
31. When not using the OMNI Station for a long period of time, please unplug it.
32. If the robot will not be used for a long time, power OFF the robot for storage and unplug the OMNI Station.
33. **WARNING**-Add clean water into the clean tank only.
34. **WARNING:** For the purposes of recharging the battery, only use the detachable supply unit CH2620 provided with the Appliance.
35. **WARNING:** If any failure or abnormal situation happen, please stop using and contact our service center.
36. This product can only be used in Japan.
37. Please don't disassembly the product.

To satisfy RF exposure requirements, a separation distance of 20 cm or more should be maintained between this device and persons during device operation.

To ensure compliance, operations at closer than this distance is not recommended. The antenna used for this transmitter must not be co-located in conjunction with any other antenna or transmitter.

Device Update

Typically, some devices are updated bi-monthly, but not always so specific. Some devices, especially those that went on sale more than three years ago, will only be updated if a critical vulnerability is found and fixed.

To check the current App version and enable automatic updates, please navigate in the app to "Settings" > "Robot Details" > "About Robot" > "Update". Your current version will be displayed. Tap "Update" to open the screen, then select "Automatic Update" to enable it.

	Caution: hot surface
	Short-circuit-proof safety isolating transformer
	Switch mode power supply
	For indoor use only

	Direct current
	Alternating current
	Before charging, read the instructions.
	Polarity of the charging port
	Time-lag miniature fuse-link
	Class II

The remote surveillance is for the absolute private use of non-public, private owned places for the pure self-protection and single control intended only. Please be aware of the local data protection based legal obligations in case of use. No surveillance of public places, especially with clandestine intent and/or on the part of the employer without justified reasons. Such not justified use is in the risk and responsibility of the user only.

Product Overview

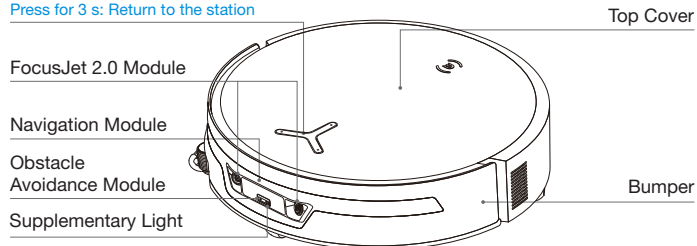
1 Product Diagram

1. DEEBOT Front View

Buttons on DEEBOT:

Tap: Toggle start/Pause

Press for 3 s: Return to the station



2. DEEBOT Bottom View

Anti-drop Sensors

Side Brush

Carpet Detection Sensor

Brush Release Button

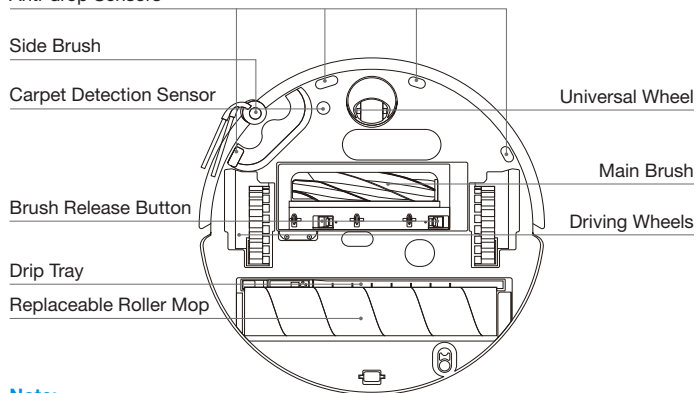
Drip Tray

Replaceable Roller Mop

Universal Wheel

Main Brush

Driving Wheels



Note:

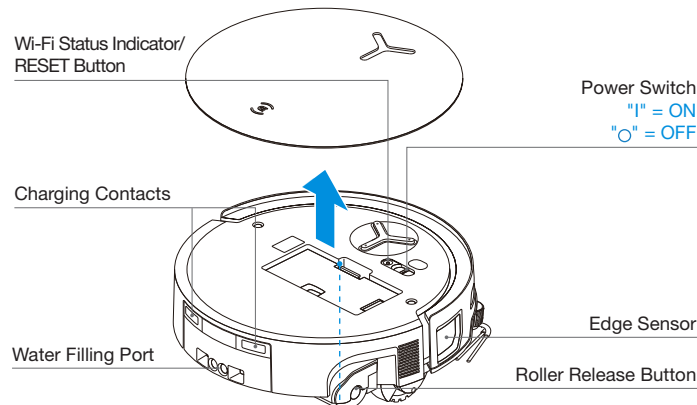
*Figures in this manual are for reference only and may differ from the appliance.

3. Inside DEEBOT(Under the Top Cover)

RESET Button

Network Setup: Press the RESET Button, and a voice prompt will be heard to connect DEEBOT to the App.

Restore default settings: Press and hold the RESET button for 5 seconds. After hearing the voice prompt, the startup music will play, and DEEBOT will be restored to its default settings. Exercise caution when using this function.



4. Dust Bin

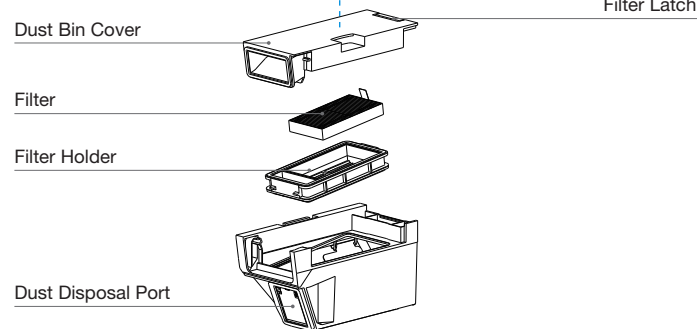
Dust Bin Cover

Filter

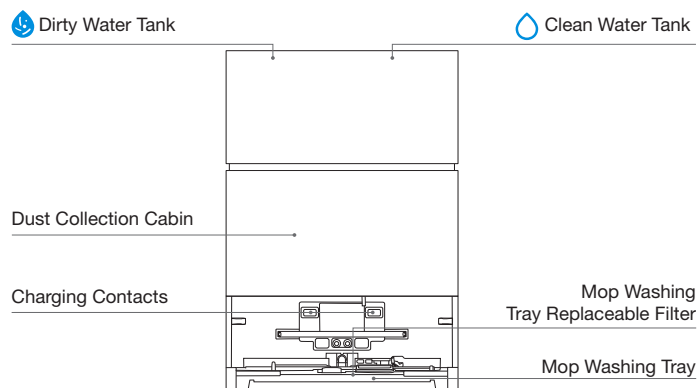
Filter Holder

Dust Disposal Port

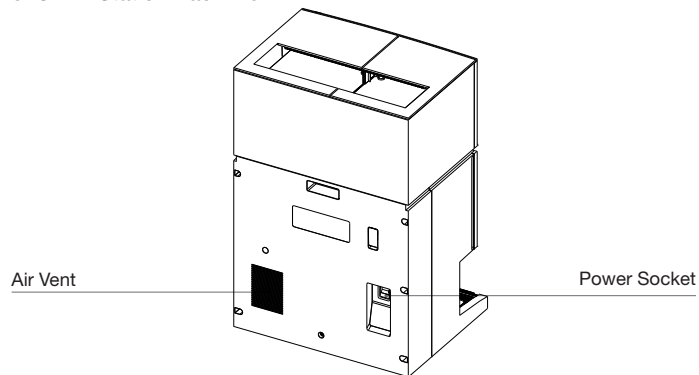
Filter Latch



5. OMNI Station Front View



6. OMNI Station Back View



7. Indicator Light on DEEBOT

Light Effect	State
Breathing White	Charging
Solid White	Fully Charged/Running
Solid Red	Low Battery
Flashing Red	DEEBOT Alarm
Flashing Orange	Station Alarm

Note:

- Flashing Orange or Red: Please check the App for the cause of the malfunction.
- If DEEBOT fails to charge, please wipe the charging contacts with a clean and dry cloth.

8. Sensors Overview

Name	Functional Description
Navigation Module	Laser Ranging is applied to measure the distance between DEEBOT and surrounding objects based on the time difference of reflection, allowing the module to map against the objects around while DEEBOT is moving. The detection range is 10m.
Obstacle Avoidance Module	Infrared Ranging and similar triangles are applied to measure the distance between the surrounding objects and DEEBOT. When the sensor detects an object nearby, DEEBOT will automatically take a turn to avoid bumping into the object. The detection range is 0.3 m.
Anti-drop Sensors	Using the Time-of-Flight (dToF) principle, the dToF sensor located on DEEBOT's bottom continuously measures the distance between DEEBOT and the ground. Meanwhile, infrared sensors on the bottom detect the distance using infrared ranging technology. DEEBOT will not move forward when there are stairs in front (such as when the height of the white surface is 55 mm or more, or the height of the black surface is 30 mm or more) and the identified height exceeds the preset one, realizing the anti-drop feature.
Carpet Detection Sensor	The sensor emits 300 kHz ultrasound, whose energy will be absorbed by the carpet, causing the echoed energy to be lower than the threshold. DEEBOT thereby detects the carpet's presence. In the ECOVACS laboratory, more than 50 types of carpets available on the market are identified.
Anti-collision Sensor	With the principle of the Optocoupler Switch, DEEBOT will avoid obstacles when they are about to collide.
Edge Sensor	With Infrared Ranging, the edge sensor detects the distance between the DEEBOT and objects on the side. When there is a wall or obstacles on the right, the DEEBOT performs edge cleaning to avoid missing any spots and prevent collisions.
AI VI Camera	AI intelligent analysis is utilized for environmental sensing and efficient video management (for some models).
Microphone	The microphone captures sound through diaphragm vibrations caused by the human voice traveling through the air. This enables voice recording and Voice Control to direct the DEEBOT to complete the assigned job through the acquisition and algorithms of sound models. The effective wake distance is 5 m.

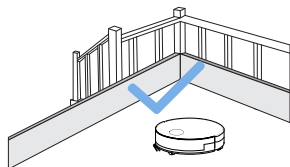
INITIAL SETUP AND USE

1 Notes before Cleaning



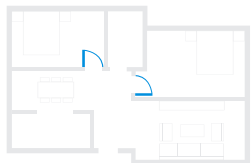
Tidy up the Area to be Cleaned

For the maximum cleaning area possible, put furniture, such as tables, chairs, and pedestal fans, in their proper place and put away low-lying items, such as weight scales, before using DEEBOT.



Prevent DEEBOT from Falling

Place a physical barrier at the edge of a drop, such as staircases and steps, to stop DEEBOT from falling over the edge.



Open Doors and Help DEEBOT Explore

Open all room doors to help DEEBOT fully explore your house during the first use.



Remove objects, including cables, clothes, and slippers, from the floor to improve cleaning efficiency.



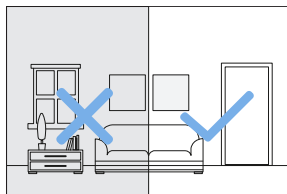
Before using the product on a carpet with tasseled edges, please fold the tassels under the carpet.



Please do not stand in narrow spaces, such as hallways, to avoid blocking the navigation module.



Ensure the clarity of DEEBOT's vision and avoid scratching or smudging the Obstacle Avoidance Module lens with fingerprints or oily stains. Use a clean, soft cloth to wipe the camera, instead of cleaning agents, detergents, or sprays.



Provide Sufficient Lighting

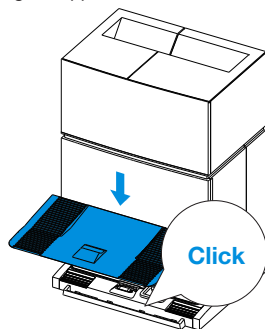
Ensure all cleaning areas are well-lit to support DEEBOT's Obstacle Avoidance Module in accurately avoiding obstacles such as shoes, socks, and cords.

2 Quick Start

Remove all protective materials before using the appliance.

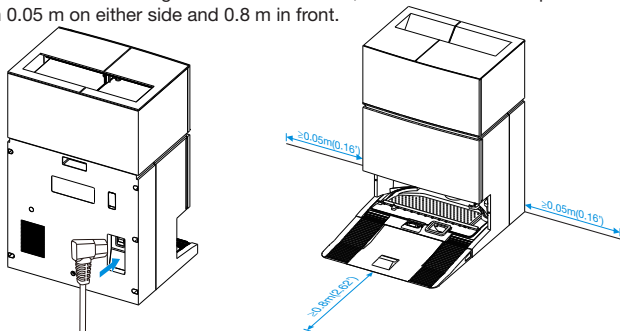
1. Station Installation

The sound of "click" indicates proper installation.



2. Assemble and Place the Station

Place the OMNI station against the wall on a flat, hard surface. Do not place items within 0.05 m on either side and 0.8 m in front.



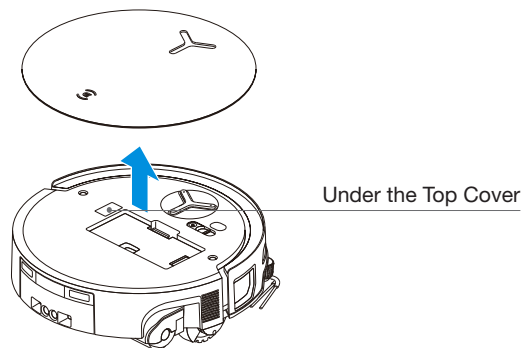
Note:

- If there are reflective objects such as mirrors and reflective skirting lines near the station, the bottom 14 cm of such objects should be covered.
- Do not place the station under direct sunlight or in high-temperature environments.
- Place the station in a location with a strong Wi-Fi signal for a better user experience.
- Do not use this product on wet floors or floors with standing water.
- If hard objects such as pebbles or toys are left on the floor, they may cause scratches. Please be sure to clear them away before use.
- Please carefully check the instruction manual and precautions of the flooring material to be installed. (If the flooring material warns against discoloration due to rubber contact, there is a risk of discoloration caused by installing this product.)
- Please note that marks from the cushion rubber may remain depending on the installation location.

3 Download ECOVACS HOME APP

To enjoy all available features, it is recommended that you control your DEEBOT via the ECOVACS HOME App.

Scan the QR code under the top cover to download the ECOVACS HOME App.



Or search "ECOVACS HOME" on the App Store or Google Play to download the ECOVACS HOME App.



Note: Follow the instructions on the App to complete the registration, login, and connection.

4 Connect DEEBOT with APP

Turn on DEEBOT and tap  or [Scan to Add Robot](#) in the app, then follow the prompts to start network setup.

Wi-Fi Network Requirements:

- You are using a 2.4 GHz or 2.4/5 GHz mixed network.
- Your router supports 802.11b/g/n and IPv4 protocol.
- Do not use a VPN (Virtual Private Network) or Proxy Server.
- Do not use a hidden network.
- WPA and WPA2 using TKIP, PSK, AES/CCMP encryption.
- WEP EAP (Enterprise Authentication Protocol) is not supported.
- Use Wi-Fi channels 1-11 in North America and channels 1-13 outside North America (refer to local regulatory agency).
- If you are using a network extender/repeater, the network name (SSID) and password are the same as those of your primary network.
- Please enable the WPA2 on your router.

Wi-Fi Indicator Light

	Slow flashing white light	Disconnected from Wi-Fi
	Fast flashing white light	Connecting
	Steady white light	Connected to Wi-Fi

Please be aware that intelligent features such as remote startup, voice interaction, 2D/3D map display and control settings, and personalized cleaning (depending on the Appliance) require the ECOVACS HOME App, which is constantly updated. You need to agree to our Privacy Policy and User Agreement so that we can process some of your essential and necessary information before you can use certain features of the App to control the Appliance. If you disagree with our Privacy Policy and User Agreement, such features will be unavailable. However, you can still use the basic features of this appliance for manual operation.

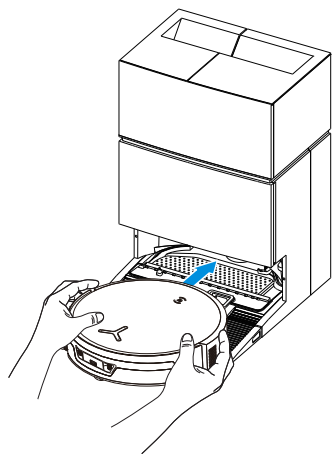
Network Interface Information

Name	Description
Infrared interface	The infrared interface is turned off by default, and it is activated when DEEBOT is in the charging station. When the DEEBOT is in the charging station, it will communicate with the charging station through the infrared interface.
Bluetooth	Enable Bluetooth to connect DEEBOT to the network during the network setup process. Bluetooth uses the GAP1800, GATT 1801, 8888 service for configuration and data interaction securely.
Wi-Fi*	Facilitate data transfer between the app and DEEBOT, enabling control of DEEBOT through the app.
ECOVACS HOME App	ECOVACS products offer smart functions such as network setup, mapping, and cleaning mode selection (specific to each product). To utilize these features, users need to download and use the official ECOVACS HOME App.

* The DEEBOT series robotic vacuums are designed for domestic cleaning scenarios. A home Wi-Fi network is required for operation, and anti-DDoS protection needs to be configured by users through route settings.

5 Power on and Charge DEEBOT

Move DEEBOT back to the station. The voice prompt "Start charging" indicate a successful docking and charging in progress. Start using DEEBOT after creating a map in the ECOVACS HOME APP.

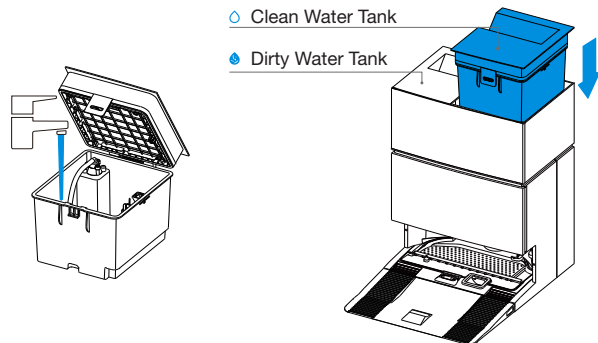


Note:

- DEEBOT cannot charge when it is powered off.
- After cleaning, it is recommended to keep DEEBOT powered on and charging to ensure it is ready for the next cleaning session.
- To ensure DEEBOT can return to charge smoothly after cleaning, start cleaning from the station and avoid moving the station during the process.

6 Fill the Clean Water Tank

Take out the clean water tank, open the tank cover, and fill the tank with water. Close the tank cover and reinstall the clean water tank.

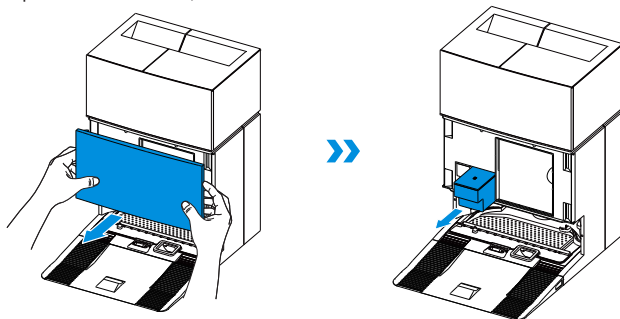


Note:

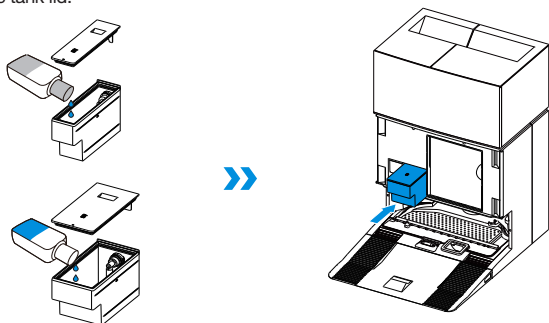
- Use only ECOVACS DEEBOT cleaning solution to avoid malfunctions.
- Use a clean, dry cloth to wipe off any water on the surface of the tank before placing it in position.
- Make sure to lock the top covers of both water tanks securely before use.
- Any watermarks in the water tanks are from function testing. Please use it with confidence.

7 Add Cleaning Solution

1. Take off the dust collection cabin cover, pull out the two cleaning solution boxes, and place them on a level, hard surface.

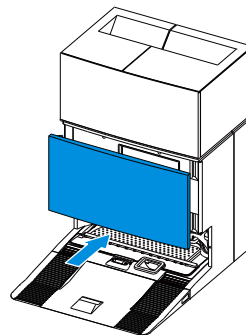


2. Pour the cleaning solution into the blue box and the heavy-duty cleaning solution into the black tank. After securing the box lids, push them back into the station and close the tank lid.



Note: Do not pour cleaning solution into the clean water tank. Add it to the cleaning solution tank instead. Otherwise, an incorrect ratio may cause excessive foaming and reduce cleaning effectiveness.

3. Return the dust collection cabin cover and press the cover firmly to secure it in position.



Note:

- Do not overfill with cleaning solution, as it may overflow when the lid is secured. This step can be skipped if you do not use floor cleaning solution regularly and the Auto Cleaning Solution Dispense function can be disabled in the APP.
- For better performance and longer lifespan of the product, please use ECOVACS DEEBOT cleaning solution.
- Please make sure that no foreign objects fall into the cleaning solution box.

8 Operate DEEBOT for Cleaning

1. Start Mapping

When creating a map for the first time, please follow DEEBOT to help with some issues. For example, DEEBOT may get stuck under furniture. Please refer to the following solutions:

- ① Raise the low-sitting furniture if possible;
- ② Cover the bottom of the furniture;
- ③ Set up a virtual boundary via the App.

2. Start Cleaning

- The DEEBOT's water tank is automatically refilled through the station. Manual refilling is not needed.
- When mopping, DEEBOT will recognize floor types and is able to lift mops automatically when encountering carpets. Please do not use DEEBOT on shaggy rugs or carpets. It is recommended to fold up the shaggy rugs during the cleaning process, or set the carpeted area as a no-entry zone by setting a virtual boundary in the App.

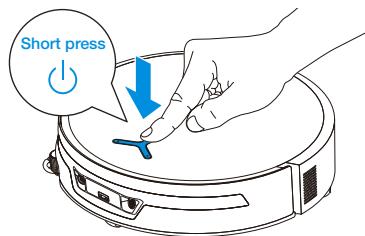
Please ensure that DEEBOT is in the station and is fully charged before cleaning for the first time. Tap  on DEEBOT to start. You can also use the ECOVACS HOME App or voice control to start.

3. Pause

Tap  on DEEBOT to pause it while it is working. You can also use the ECOVACS HOME App or voice control to pause DEEBOT.

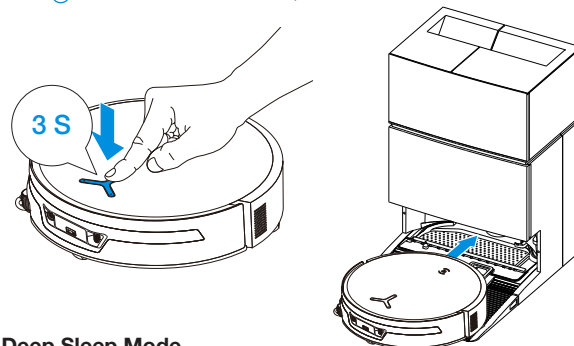
4. Wake Up

After pausing for a while, all indicator lights on DEEBOT will go out. To wake up DEEBOT, press .



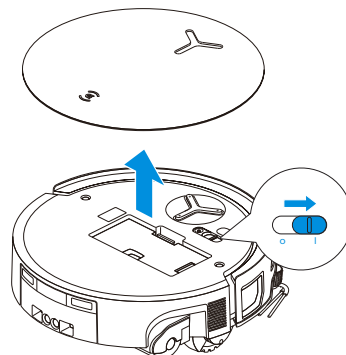
5. Back to Station

Use the ECOVACS HOME App or voice control to recall DEEBOT, or press and hold the  button on DEEBOT for 3 s, to allow DEEBOT to dock for charging.



6. Deep Sleep Mode

DEEBOT will enter deep sleep mode if it stays outside the station for about 10 h to protect the battery. Please switch OFF and ON to wake DEEBOT up.



When DEEBOT returns to the station during a task, PowerBoost Charging will start by default and take approximately 5 minutes. It will then switch to standard charging and stop automatically once fully charged.

REGULAR MAINTENANCE

① Maintenance Frequency

To keep DEEBOT running at peak performance, perform maintenance and replace parts at the following frequencies:

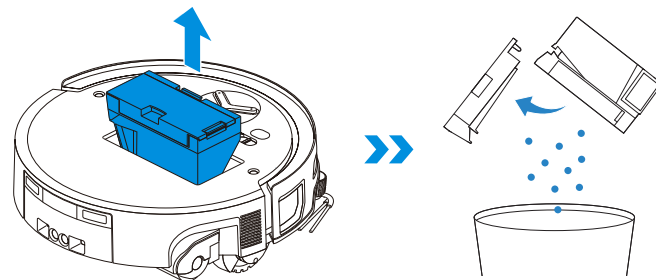
Part	Maintenance Frequency	Replacement Frequency
Replaceable Roller	/	Every 1-2 months
Drip Tray	Every week	/
Dust Bag	/	When the App prompts
Side Brush	Every 2 weeks	Every 3-6 months
Main Brush, Main Brush Cover	Every week	Every 6-12 months
Filter	Every week	Every 3-6 months
Universal Wheel Anti-drop Sensors Bumper Charging Contacts on DEEBOT Charging Contacts on OMNI Station Navigation Module Obstacle Avoidance Module	Approx. every month	/
Clean Water Tank	Every 3 months	/
Dirty Water Tank	Every month	/
Body and Bottom of the Station	Every month	/
Mop Washing Tray Replaceable Filter	Every 2 weeks	/
Cleaning Solution Unit	Every month	/

Note: Explore more accessories at the ECOVACS HOME App or at <https://www.ecovacs.com>.

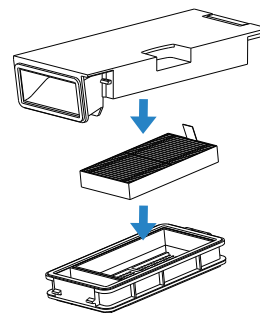
② DEEBOT Maintenance

1. Maintain Dust Bin and Filter

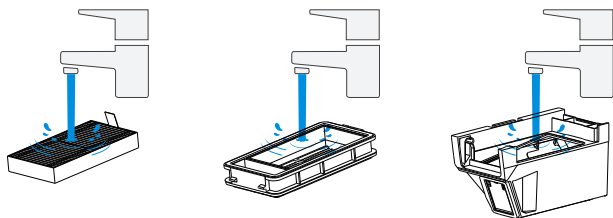
1. Remove the dust bin and then empty it.



2. Open the filter net and remove the filter.



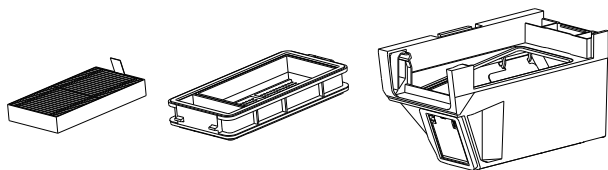
3. Rinse the dust bin and filter with water, and shake off the water droplets.



Note:

- Please rinse the filter with water as shown.
- Do not use fingers or brushes to clean the filter.

4. Air-dry the dust bin and filter.

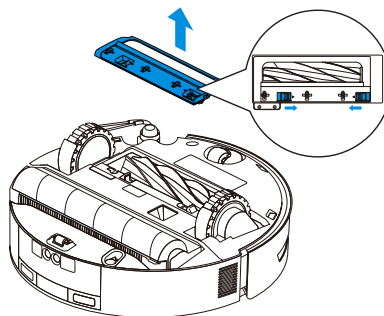


Note: Completely dry the components before use.

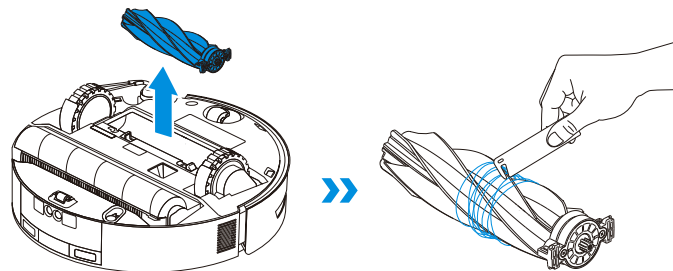
2. Maintain Main Brush and Side Brush

Clean Main Brush

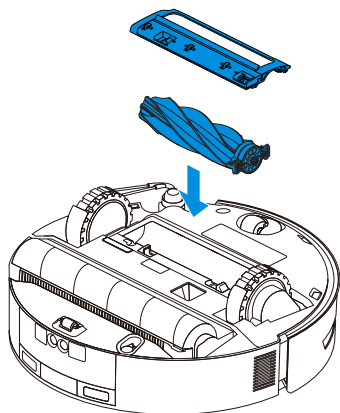
1. Remove the cover from the main brush.



2. Remove and clean the main brush and its chamber.

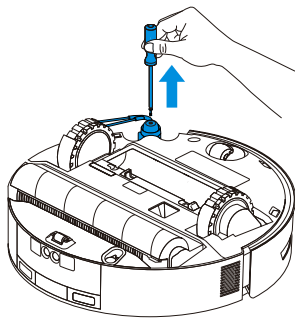


3. Install the main brush, and the cover.



Clean Side Brush

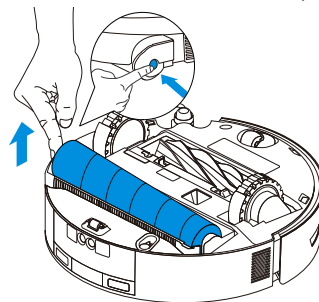
Remove the side brush using a screwdriver and clean it.



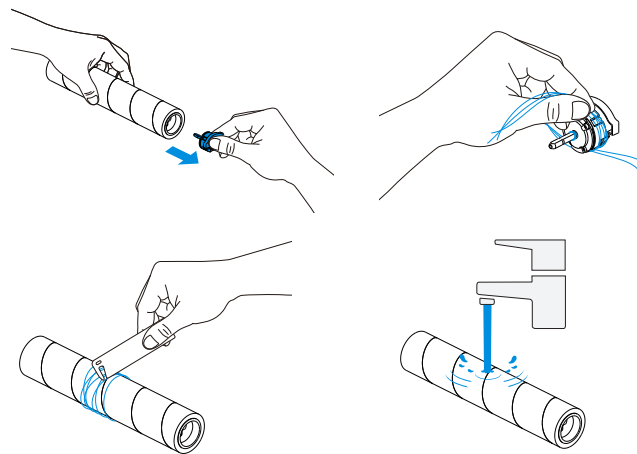
3. Maintain Roller Components

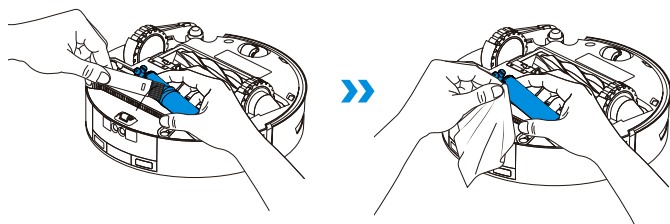
Clean Roller Mop

1. Press the roller release button on the side of the roller mop, gently lift, and remove the roller mop.



2. Remove the roller end cover, clean and dry the roller mop. Wipe the roller chamber with a damp cloth that has been wrung out.

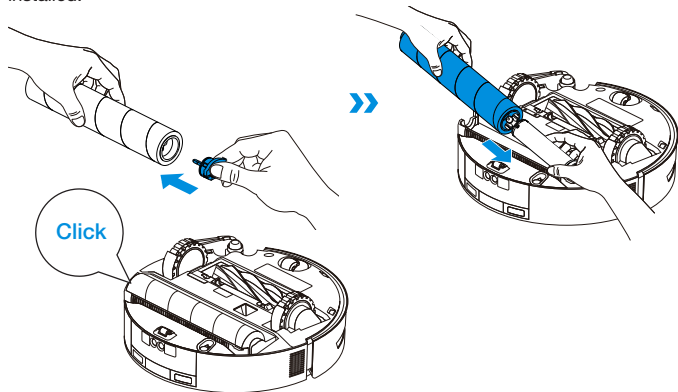




Note:

- Do not pull roller motor components forcefully during cleaning to avoid damage.
- Do not rinse DEEBOT with water.

3. Reinstall the roller end cover and attach the roller mop to the motor. Once the mop is in place, align the roller release button with the groove on the side of the roller chamber and press it. A "click" sound indicates the mop is properly installed.

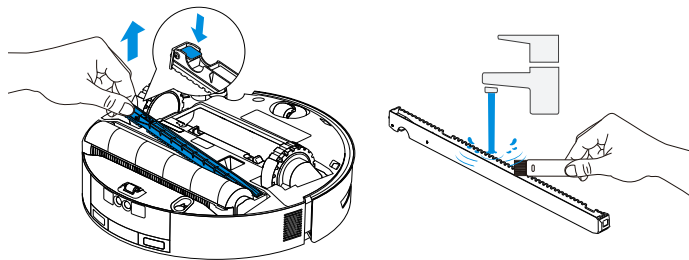


Note: Explore more accessories at the ECOVACS HOME App or at <https://www.ecovacs.com>.

4. Maintain Drip Tray

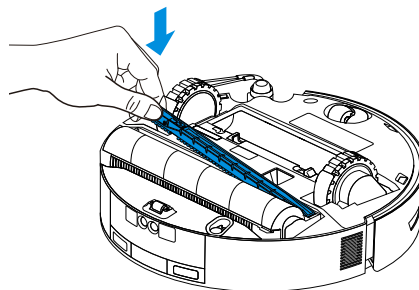
Clean the Drip Tray

1. Push up the release button to remove the drip tray, then clean and dry it.



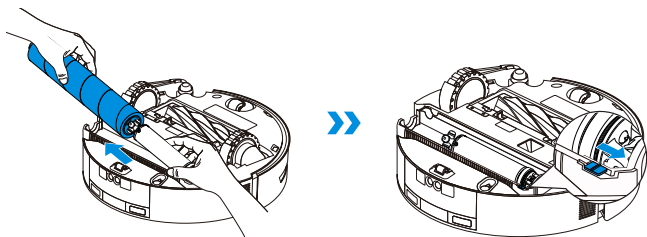
Note: A small amount of residual water may leak out when flipping DEEBOT if it's not in drying mode.

2. Reinstall the drip tray and press down firmly until it's properly installed.

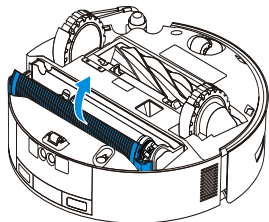


5. Clean Mop Roller Cover

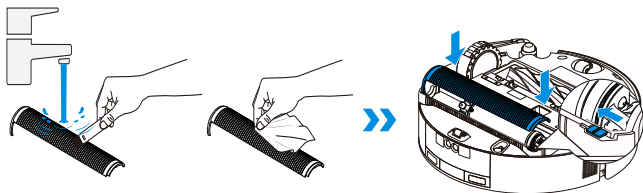
1. After removing the roller mop, slide the mop roller cover release switch to the right to unlock it.



2. Grip the mop roller cover by the groove on the roller chamber, then gently twist and lift it off.

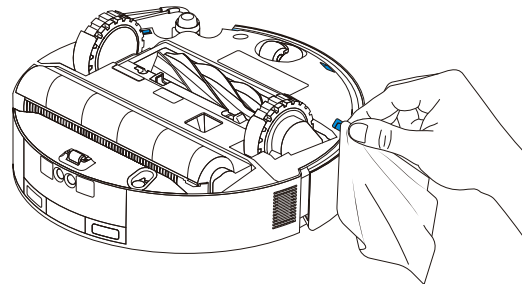


3. Once the mop roller cover is cleaned and dried, align its axle with the track on the left side of the roller chamber, reinstall it, and lock the release switch.

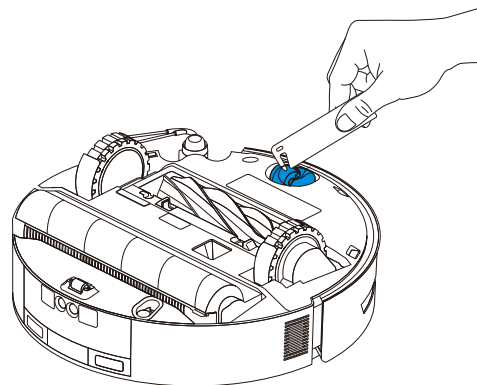


6. Maintain Other Components

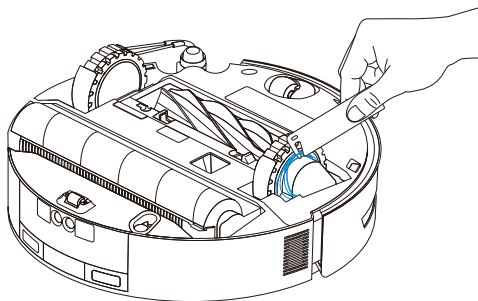
Clean the Anti-drop Sensors



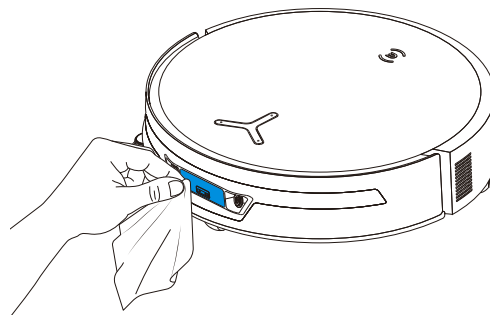
Clean the Universal Wheel



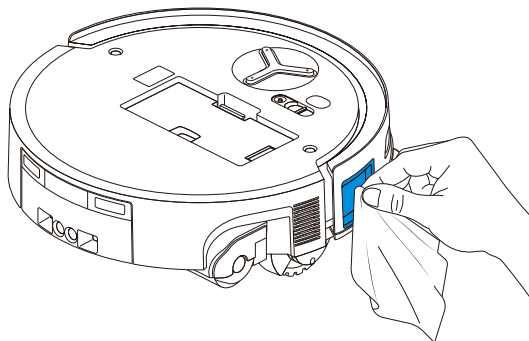
Clean the Driving Wheels



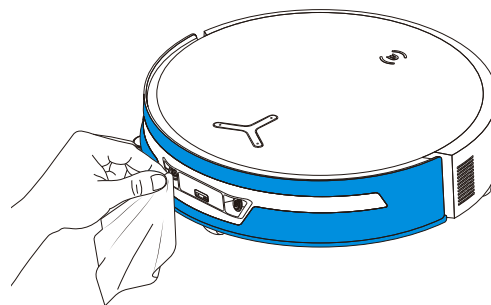
Clean the Obstacle Avoidance Module Lens



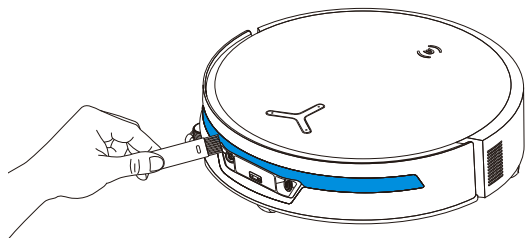
Clean the Edge Sensor



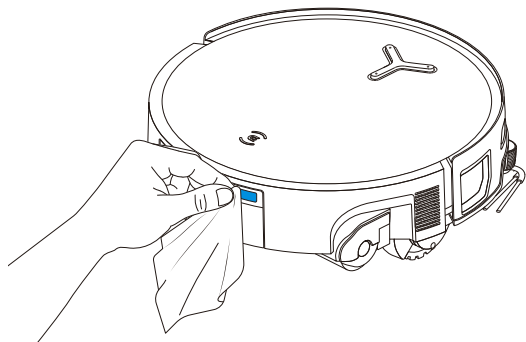
Clean the Bumper



Clean the Navigation Module



Clean Charging Contacts



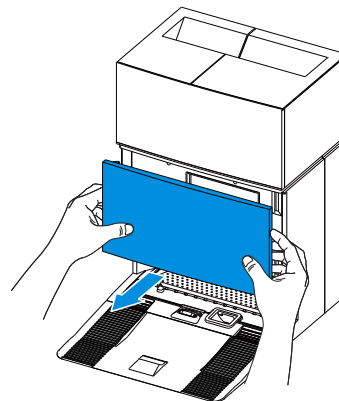
Note:

- Wipe the components with a clean, dry cloth. Never use a wet cloth. Do not use cleaning sprays or detergents, as moisture may cause damage.
- Charging contacts contain sensitive electronic components. Clean them with a dry cloth. Do not use a wet cloth to prevent water damage.

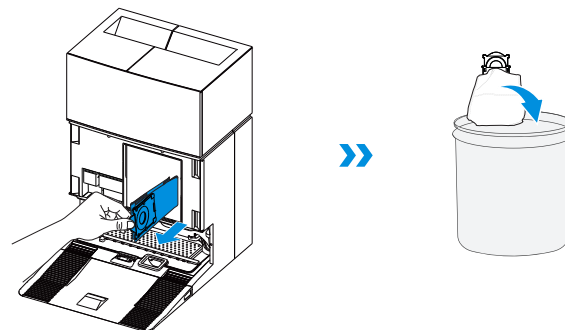
3 Station Maintenance

1. Maintain Dust Bin

1. Remove the dust collection cabin cover.

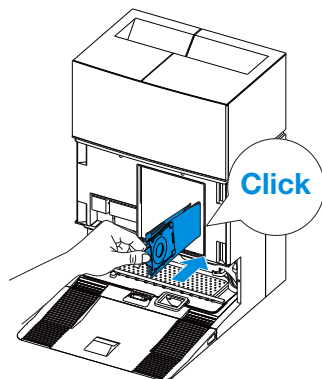


2. Remove the disposable dust bag in the direction of the arrow and discard it.

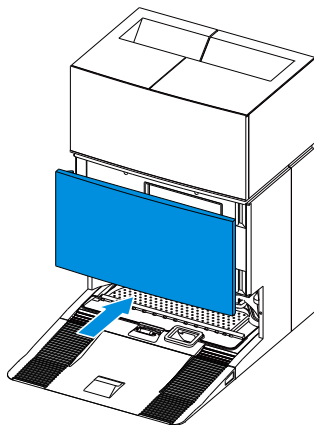


Note: Hold the handle to lift out the dust bag, which can effectively prevent dust leakage.

3. Clean the dust container with a dry cloth and install a new dust bag.

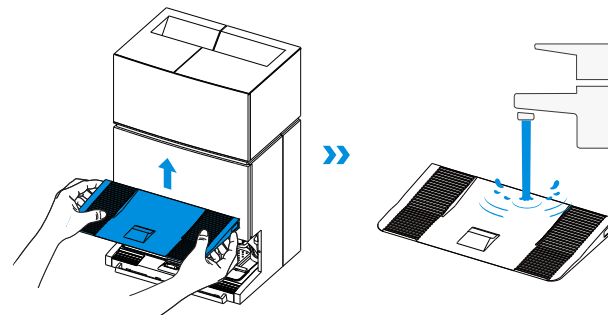


4. Insert the top latch of the dust container cover into the slot, and then press downward to ensure a proper seal.

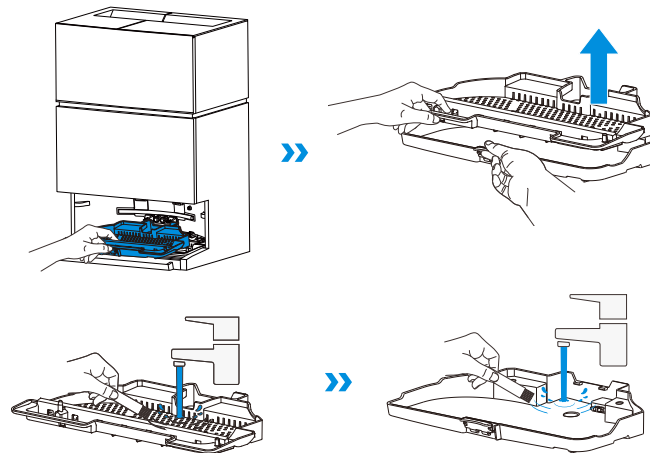


2. Maintain Mop Washing Tray

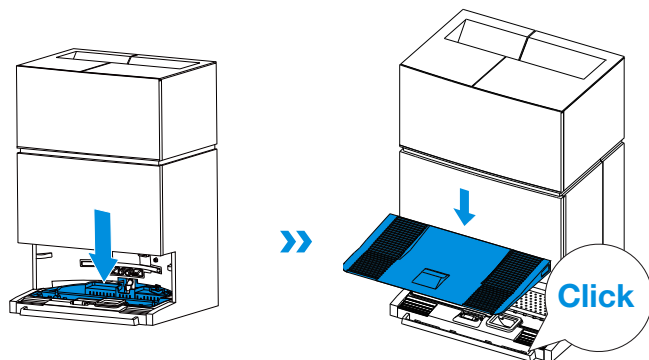
1. Remove and clean the station base.



2. Remove the mop washing tray. Press the latch on the tray to remove the replaceable filter and clean it.



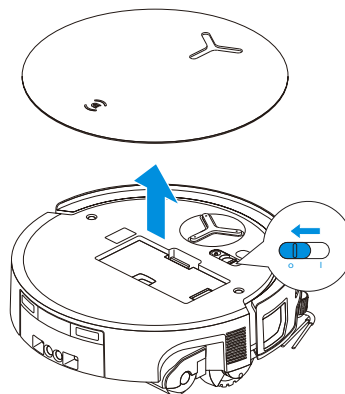
3. Reinstall the mop washing replaceable filter, tray and station base in order. A "click" sound indicates they are securely in place.



Note: Please install it correctly before use.

4 Storage

Please fully charge and switch OFF DEEBOT before storage. Please recharge it every 1.5 months to prevent the battery from over-discharging.



! Please note that DEEBOT cannot charge when powered OFF.

Note:

- After DEEBOT finishes its cleaning task, it is recommended not to power it off but to keep it charging, to better prepare for the next cleaning session.
- If the battery is over-discharged or not used for a long time, DEEBOT may not be charged. Please contact ECOVACS for help. Do not disassemble the battery by yourself.
- If you do not use DEEBOT for a long time, use the Device Relocation feature in the App to drain the clean water inside DEEBOT, keep the station water tanks empty, and the roller mops dry.

TROUBLESHOOTING

For the following possible issue, refer to the corresponding solutions.

No.	Malfunction	Possible Cause	Solution
1	DEEBOT is not able to connect to the App.	Incorrect Wi-Fi username or password entered.	Enter the correct Wi-Fi username and password.
		DEEBOT is not within range of your home Wi-Fi signal.	Make sure DEEBOT is within range of your home Wi-Fi signal. Try to stay as close to the router as possible.
		DEEBOT is not in the configuration state.	Press the Reset button to connect DEEBOT to your phone by Bluetooth. If it fails, please press the Reset button +  and connect via the App.
		There is no home Wi-Fi on the Wi-Fi list.	Check if the Wi-Fi name contains special characters. Please do not use special characters like ! @#& ¥%/. Do not use a 5 Ghz network.
		An incorrect App is installed.	Please download and install the App.
2	Unable to create the furniture map in the App.	Moving DEEBOT when cleaning might cause the map to be lost.	During cleaning, do not move DEEBOT.
		Auto cleaning is not finished.	Make sure DEEBOT automatically returns to the OMNI Station after cleaning.
		Multi-floor mode was not enabled when the second map was created.	Please enable multi-floor mode in the App.
3	The side brush drops out of place during use.	The side brush is not properly installed.	When installing the side brush with a screwdriver, ensure the screw is tightened securely.
4	No signal found. Unable to return to the station.	The OMNI Station is incorrectly placed.	Place the station properly according to the instructions in the [Power on and Charge DEEBOT] section.
		Station is out of power or has been moved.	Check whether the OMNI Station is connected to the power supply. Do not move the OMNI Station.
		DEEBOT does not start cleaning from the OMNI Station.	It is recommended that DEEBOT start cleaning from the OMNI Station.
		The docking route is blocked. For example, the door is closed to the room where the OMNI Station is placed.	Keep the charging route clear.

No.	Malfunction	Possible Cause	Solution
5	DEEBOT returns to the OMNI Station before it has finished cleaning.	The room is so large that DEEBOT needs to return to recharge.	Please enable auto resume. For more details, please follow the App instructions.
		In highly complex home layouts, cleaning efficiency may decrease, possibly resulting in incomplete cleaning.	Simplify your home layout.
6	DEEBOT is unable to charge.	DEEBOT is not switched ON.	Switch ON DEEBOT.
		DEEBOT's charging contacts are not connected to the OMNI station's charging contacts.	Make sure that DEEBOT's charging contacts have connected to the station's charging contacts and  flashes. Check whether DEEBOT's and OMNI station's charging contacts are dirty. Please clean these parts according to the instructions in the [REGULAR MAINTENANCE] section.
		The OMNI Station is not connected to the power supply.	1. Make sure the OMNI station is connected to power supply. 2. Once the power is connected, ensure that the motor startup sound can be heard.
		The base has not been installed in place.	Refer to the [Quick Start] section for correct installation.
7	DEEBOT is very loud during cleaning.	The main brush/side brush/roller mop is tangled, or the dust bin is blocked.	It is recommended to clean the main brush, side brush, dust bin, roller mop, etc., regularly.
		DEEBOT is in Strong Suction Mode or Max Suction Power Mode.	You can set the suction power to Quiet Mode. Cleaning performance may be reduced in Quiet Mode.
8	DEEBOT gets stuck while working and stops.	DEEBOT is tangled with objects on the floor (electrical wires, curtains, carpet fringing, etc.).	DEEBOT will try various ways to free itself. If its attempts fail, manually remove the obstacles and restart.
		DEEBOT might be stuck under furniture with an entrance of similar height.	Please raise the furniture, set a physical barrier, or set a virtual boundary via the ECOVACS HOME App.
		DEEBOT is stuck in a narrow area.	Tidy up your home, set a physical barrier, or set a virtual boundary via the ECOVACS HOME App.

No.	Malfunction	Possible Cause	Solution
9	During cleaning, DEEBOT may encounter issues like a disorderly route, biased movement, repeated cleaning over the same spots, and missing small areas.	A large area has not been cleaned, possibly because it was blocked.	Ensure the door is open, clear potential obstacles, such as slippers and scattered cords. DEEBOT will perform supplementary cleaning before the cleaning session is finished.
		The driving wheels may slip on the ground when DEEBOT climbs steps, thresholds, and door bars, which can affect its judgment of the entire home environment.	Close the door of the room, or set a virtual boundary in the App. You can then bring DEEBOT into the room to clean it separately.
		On freshly waxed or polished floors, as well as smooth tiles, there may be less friction between the driving wheels and the floor.	Please wait for the wax to dry before cleaning.
10	After returning to the OMNI station, DEEBOT does not empty its dust bin.	The Auto-Empty function has not been turned on in the App.	Turn on the Auto-Empty function in the App.
		Manually moving DEEBOT back to the station will not trigger the Auto-Empty function.	It is recommended to allow DEEBOT to return to the OMNI Station on its own. Please do not manually move it.
		In Do Not Disturb mode, DEEBOT will not empty the dust after returning to the OMNI Station.	Turn off Do Not Disturb in the App or manually start dust-emptying.
		The station detects a decrease in empty efficiency.	Replace the dust bag according to the [REGULAR MAINTENANCE] section and close the dust collection cabin. If the dust bag is not full when prompted by the App, you can put it back again.
		Check if the dust bin is full and causes a blockage.	Clean the dust bin according to the [REGULAR MAINTENANCE] section.
		If the above possible causes have been ruled out, components of the station may be abnormal.	Please contact customer service for assistance.

No.	Malfunction	Possible Cause	Solution
11	Auto-Empty unsuccessful.	The station detects a decrease in empty efficiency.	Please replace the dust bag according to the [REGULAR MAINTENANCE] instructions and securely close the dust collection cabin door. If the replacement prompt appears but the bag is not full, remove, reinsert, and then properly secure the cabin.
		The outlet of the dust bin is blocked by foreign objects.	Remove the dust bin and clear the foreign objects on the outlet.
12	The inner side of the dust collection cabin is dirty.	Fine particles pass through the dust bag and accumulate on the inner side of the dust collection cabin.	Clean the inner side of the dust collection cabin.
		The dust bag is broken.	Check and replace the dust bag.
		The dust bag is not properly installed.	Please install the dust bag properly.
		The dust container cover is not closed.	Please check if the dust container cover is closed properly.
13	Dust leakage occurs while DEEBOT is working.	The outlet of the dust bin is blocked by foreign objects.	Remove the dust bin and clear the foreign objects on the outlet.
14	The roller mop does not rotate.	The roller mop is not correctly installed.	Install the roller mop properly according to the [REGULAR MAINTENANCE] section.
		The roller mop is blocked by foreign objects.	Clean and install the roller mop properly according to the [REGULAR MAINTENANCE] section.
15	The driving wheel is stuck.	The driving wheel is entangled or stuck due to foreign objects.	Rotate and press the driving wheel to check for any wrapping or obstruction by foreign objects. If any foreign objects are found, please clean them promptly. If this issue persists, please contact customer service for assistance.

No.	Malfunction	Possible Cause	Solution
16	The mop washing tray is full of water and cannot be emptied. A voice prompt reports the mop washing tray malfunction.	The dirty water tank is not properly installed.	Tap down on the dirty water tank to ensure it is properly installed.
		The sealing plugs in the dirty water tank are not installed properly.	Make sure that the two sealing plugs are properly installed.
		The mop washing tray is not properly installed.	Check and ensure the mop washing tray is properly installed.
		Check if the floating ball gets stuck when there is no water in the mop washing tray base.	Take out the mop washing tray to put the floating ball back in place.
		The OMNI Station cannot drain water normally.	Place DEEBOT in the station. After ensuring it's charging, double tap  . If the issue persists, please contact customer service for assistance.
		The suction port of the mop washing tray is blocked by foreign objects or dirt.	Please clean the mop washing tray and its filter, and make sure the inlet is free of any foreign objects.
		The voice alert persists after all the above solutions are tried.	Power off and on the station. If this issue persists, please contact customer service for assistance.
17	A loud noise occurs while the mopping pad is drying	Noise increases when the dust bin drying function is enabled	Turn off the dust bin drying function in the App
18	Malfunction of the dirty water tank heating function	The dirty water tank heating function is disabled in the App	Enable the dirty water tank heating function in the App
		DEEBOT is performing other tasks during the scheduled dirty water tank heating period, such as cleaning, drying, or charging	Manually adjust the heating schedule of the dirty water tank in the App, and confirm no tasks will run within this timeframe
		Residual water at the bottom of the dirty water tank causes a short circuit, prompting the Station to cut power for protection	1. Inspect the exterior bottom of the dirty water tank and the matching contact springs on the Station for residual moisture. Wipe away any water with tissue paper to prevent short circuiting from occurring during heating. 2. When emptying wastewater from the dirty water tank or cleaning its surface on a daily basis, keep the tank's exterior bottom completely dry. Do not let the bottom come into direct contact with water to lower the risk of potential heating faults.

Please contact our customer service for assistance if the problem persists despite the recommended solutions.

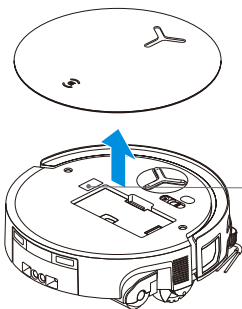
TECHNICAL SPECIFICATIONS

Model	ZJ2570		
Rated Input	17.8 V === 2 A	Fast Charge Input	16.4 V === 10.5 A
Charging Time	about 2.5 h		
Station Model	CH2620		
Station Rated Input	100 V ~ 50-60 Hz/0.5A		
Station Nominal Rated Output	17.8 V === 2 A	Fast Charge Output (Short Time)	16.4 V === 10.5 A
Rated Input Current (Charging)	3 A	Power (Emptying)	3 A
Power (Hot Water Washing Mop)	4.5 A		
Power (Dirty Water Tank Heating)	90W		
Frequency Bands	2400-2483.5 MHz		
Networked Standby Power	Less than 2.00W		

The output power of the wireless module is less than 100 mW.

Note: Technical and design specifications may be changed for continuous product improvement.

Explore more accessories at <https://www.ecovacs.com>.



Please use the mobile camera to scan the QR code and obtain the user guide.

Ecovacs Home Service Robotics Co., Ltd.

No.518 Songwei Road, Wusongjiang Industry Park, Guoxiang Street,
Wuzhong District, Suzhou, Jiangsu, China.